科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 9 日現在

機関番号: 34315

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2018~2021

課題番号: 18H01968

研究課題名(和文) 電子イオニクス:電荷を有する 電子系の合成と自在な集合化

研究課題名(英文)pi-Electronic Ionics: Synthesis of Charged pi-Systems That Form Assembled Structures

研究代表者

前田 大光 (Maeda, Hiromitsu)

立命館大学・生命科学部・教授

研究者番号:80388115

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文):本研究課題では、新たな荷電 電子系を創製し、その集合化および電子機能材料・デバイスへの展開、さらに物性や集合体形態に関わる学理の解明に挑戦した。実際に、ポルフィリンAu(III)錯体やヒドロキシポルフィリン脱プロトン化体が 電子系カチオン・アニオンとして集合化に寄与することを見出し、対イオンとの規則配列構造の形成および関連する電子・光物性の発現を明らかにした。このとき、荷電 電子系間にはたらく相互作用を理論的・実験的に検証し、i -i 相互作用として新たに提唱した。イオンペア集合体の構成ユニットとして、アニオン応答性 電子系および関連する 電子系の合成・誘導化および機能発現も行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義 新たな荷電 電子系を開発し、その間にはたらく相互作用を制御・規則配列による電子機能性の発現によって、 既存システムにはない分子集合体の化学を確立する契機を得ることができた。とくに、拡張 電子系に電荷を付 与することで会合・集合化、材料形成を実現した点、また疑似的な荷電 電子系を与えるイオン応答性 電子系 の新たな特徴を引き出した点、さらに新たな骨格を有する 電子系を開発し、分子認識・集合化・電子物性を明 らかにした点は、学術的に、また新たな分子素材による将来の応用展開の可能性を提示した点からも、社会的意 義にも高い価値を示すものである。

研究成果の概要(英文): In this research project, we have attempted to synthesize new charged electronic systems for fabricating their assemblies and electronic materials and devices and investigating the relations between the properties and assembling modes. In this study, porphyrin Au(III) complexes and deprotonated forms of meso-hydroxyporphyrins were found to act as electronic cations and anions, respectively, which form ion pairs in combination with corresponding counterions, resulting in the ordered arrangement and electronic and photophysical properties. The fundamental intermolecular forces between the charged components in the ion-pairing assemblies were examined, driving us to propose i -i interactions for the stacking of charged -electronic systems. In addition, other building units of ion pairing assemblies, such as pyrrole-based anion-responsive -systems and related molecules, were synthesized for electronic properties.

研究分野: 有機化学・超分子化学

キーワード: 電子系 イオンペア 集合体 電子物性

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

 π 電子系は多重結合に起因した電子・光物性を示すことから有機材料に不可欠な構成ユニットであり、半導体などの応用へと展開されている。合成化学の観点から、構成ユニットである π 電子系の形状(構造)や電子状態に注目し、所望の物性、たとえば高効率な電荷輸送能を発現する素材の開発が検討されている。多様な分子間相互作用により π 電子系の適材適所の配列が実現されているが、さらに電荷間にはたらく静電相互作用を利用することで、相反するイオンを集合体内に相補的に組み込み、配置することも可能となる。

有機イオン種を構成ユニットとする場合、0次元体であるイオン液体や、3次元組織構造である結晶がよく知られている。一方、精密設計によりイオンの規則配置や組織化に関する重要な知見がこれまでに得られており、たとえば、イオンユニットを有する両親媒性誘導体が自己組織化膜を形成する国武らの研究は、超分子化学のさきがけとして位置づけられている。しかし、これまで報告されている有機イオン種から構成される次元制御型組織構造(ゲルや液晶など)は、一方のイオンのみが組織化のおもな駆動力を与えるもの、または組織化への寄与が比較的小さな側鎖部位などに電荷を有するもの、がほとんどである。

2. 研究の目的

本研究課題では、新たな π 電子系イオンを創製し、その集合化および電子機能材料・デバイスへの展開、さらに物性や集合体形態に関わる学理の解明を目的とする。本研究課題では、集合化能を有する π 電子系イオンを設計・合成し、相反するイオンの交互積層による電荷積層型集合体および同種イオンの積層による電荷種分離配置型集合体の寄与を有する集合体の形成・制御に挑戦し、所望の電子物性(強誘電性・半導体特性)を発現する電子機能材料の創製をめざす。集合体形成にとどまらず、分光的手法や理論計算を駆使し、「イオンペア結合」とも提唱するべき構成ユニットの電荷間にはたらく相互作用の本質の理解に迫る。

3. 研究の方法

(1) π電子系イオンの合成

理論計算による予測もふまえ分子骨格を徹底的に精査し、 π 電子系カチオンおよびアニオンの設計・合成を行う。電荷の導入はカルボカチオンやカルバニオンの利用、芳香族安定化、高周期元素の利用を主軸として進め、とくにカチオンの場合、金属イオンの電荷を補償しない π 電子系-金属錯体なども検討する。合成した π 電子系イオンの構造および基本物性を各種分光法によって検証し、次元制御性の付与を目的とし、周辺に適切な置換基(長鎖アルキル基など)も導入する。

(2) π電子系イオンからなるイオンペアの形成

 π 電子系イオンの間にはたらく相互作用の程度を考慮し、組み合わせ(アニオン + カチオン)を精査することで、イオンペア形成を検証する。具体的には、 π 電子系カチオンおよび π 電子系アニオンそれぞれの塩を適切な化学量論量比で混在させ、生じる不要な塩を除去し、残った π 電子系イオンペアを再結晶等で精製し、各種分光法や元素分析等で純度(組み合わせとして適切か)を評価する。

(3) イオンペアによる次元制御型集合体の創製

イオンペア集合体を固体(結晶)や超分子ゲル、サーモトロピック液晶などのバルク材料として調製する(ポルフィリン Au^{III} 錯体の集合体)。イオンペアの組み合わせを徹底的に検討し、相反する電荷種間の引力を利用した電荷積層型集合体の形成、同種電荷種間の静電反発を凌駕する引力を適切に付与させた完全電荷種分離配置型集合体の形成に挑戦する。集合体形態は放射光 XRD などの各種分光法や表面観察を利用して解明する。3 次元組織構造内での電荷種間にはたらく相互作用や電子相関、静電ポテンシャル勾配、およびそれらに起因する配列形態や電子物性は、静電的な引力・斥力と強い相関があり、電荷の非局在化状態によって大きく影響を受ける。たとえば、電荷の非局在化は安定な電荷種分離配置型の集積化を実現する一方で、系全体としては電子的に不活性な状態を誘起しうる。そこで、 π 電子系における電荷種の分布状態に関して、電子密度分布を精密 X 線構造解析によって検証する。さらに相反する電荷種間での電荷補償(負電荷種から正電荷種への部分的な電荷の移動)の評価にも挑戦する。また、理論計算によっても電荷種間の引力・斥力の寄与を検証し、「イオンペア結合」の本質を理解する。

(4) イオンペア集合体における強誘電性:電荷積層型

相反する π 電子系イオンのイオンペアによる積層構造(電荷積層型集合体)は、ナノスケールの分極構造(電気双極子の配列)と見なすことができる。電気双極子は電荷と距離の積によるため、電荷的に中性な分子における分極構造と比較して、 π 電子系に広がった、相反する電荷の間にはより大きな分極状態が実現できうる。イオンペア内における分極構造が自発的に誘起され、さらに集積化(規則配列)により誘電性が増強され、電場応答性を示しうることから、 π 電子系イオンを基盤とした強誘電性の発現、さらにメモリデバイスへの展開を検証する。

(5) 半導体物性の発現:電荷種分離配置型

電荷種分離配置型集合体からなる材料を結晶やソフトマテリアル(サーモトロピック液晶な

ど)として調製し、その電荷輸送能をマイクロ波伝導度(TRMC)測定や飛行時間型(TOF)測定によって検討する。電荷種が分離配置することから、電荷キャリアの発生によって、積層カラム内における静電斥力が低下することになる。そこで、従来の半導体性材料と比較して革新的な、電荷キャリアの高密度充填状態を保持できる半導体材料の実現に挑戦する。

(6) 電荷積層型⇔電荷種分離配置型の変換による電子物性の制御

形成された集合体形態(電荷積層型および電荷種分離配置型)の刺激応答による形態変化を実現し、対応する電子物性(強誘電性および半導体特性)の制御を検討する。たとえば、①適切な範囲で温度に依存して形状を変化させる温度依存性ユニット、②光照射により形状・電子状態が変化する光応答性ユニット、さらに③積層構造における電子スピン配列の制御が可能な磁場応答性ユニットなどを導入した π 電子系イオンを合成し、これらを構成ユニットとした集合体(バルク材料)の形成を試みる。②に関連し、光応答性ユニットの形状変化によって増幅誘導される(協同的作用による)形態変化の時空間解析などに挑戦する。

4. 研究成果

研究期間(2018~2021年度)の成果の中で、代表的なものを以下に記載する。

(1) 広い平面状構造を持った荷電 π 電子系からなるイオンペア集合体: 超分子ゲルや液晶への 展開

平面状 4 座ジアニオン配位子であるポルフィ リンの Au^{III} 錯体は 1 価の π 電子系カチオンであ り、軸配位子をともなわないことから、適切な条 件における対アニオンの交換によってさまざま なイオンペアの形成が可能であることを見出し た(**図1**)。たとえば、ポルフィリン Au^{III}錯体の CI-イオンペアを出発原料とし、対のアニオンと して BF4-や PF6-イオンペアを形成し、固体中に おいて電荷種分離配置型集合体を形成すること を単結晶 X 線構造解析により明らかにした。さ らに、ペンタシアノシクロペンタジエニルアニ オン (PCCp⁻) を導入した真の π 電子系イオンペ アの形成にも成功し、単結晶 X 線構造解析から π-πスタッキングを基盤とした電荷積層型集 合体を形成することを明らかにした。一方、脂溶 性アルキル鎖を導入したポルフィリン Au^{III} 錯体 を基盤としたイオンペアの合成に成功し、適切 な溶媒条件においてファイバー状組織構造を基 盤とした超分子ゲルの形成を見出した。脂溶性 アルキル鎖を導入したπ電子系イオンペアは広



図 1 π 電子系カチオンであるポルフィリン Au^{III} 錯体 からなるイオンペア集合体

い温度範囲において液晶中間相を発現し、放射光 XRD から電荷積層型集合体を基盤としたヘキサゴナルカラムナー相(Colh)であることを明らかにした(iScience 2019, 14, 241)。

<u>(2) 光誘起電子移動を基盤とした蛍光アニオ</u>ンセンサの開発

ジピロリルジケトンホウ素錯体およびその 誘導体は高いアニオン会合能を示し、そのレセ プター-アニオン会合体は、疑似的なπ電子系 アニオンとしてさまざまなカチオン種との組 み合わせにより多様な集合体の形成が可能で ある。誘導化の一つとして、高い電荷輸送能の 獲得を目的とし、拡張π電子系ピロールを基盤 としたアニオン応答性分子の合成およびイオ ンペア集合体の創製を行った。 π電子系を拡張 することで、電荷の非局在化に起因したレセプ ター-アニオン会合体間の静電反発の低下を明 らかにした。今回、さらなるπ電子系の拡張を めざし、芳香環多置換ピロールを基盤としたア ニオン応答性分子 1,2a-c を合成した(図 2a)。 興味深いことに、2a は CH_2Cl_2 ($\varepsilon_r = 8.93$)およ び $CHCl_3$ ($\varepsilon_r = 4.81$) 中において高い蛍光量子収 率 Φ_{FL} (CH₂Cl₂: 0.89, CHCl₃: 0.86) を示したのに 対し、アルコキシ置換体 2b の蛍光量子収率は

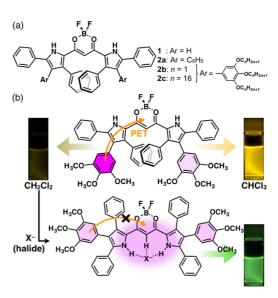


図 2 (a) 芳香族多置換型アニオンレセプターおよび (b) 光誘起電子移動による蛍光消光を利用したアニオンセンシング (蛍光の回復)

溶媒極性に大きく依存した(CH_2Cl_2 : 0.084, $CHCl_3$: 0.53)。すなわち、極性の高い溶媒の利用と、ピロール 4 位への電子供与性芳香環の導入による消光が示唆された。また、3,5 位にメチル基を導入した誘導体は消光を示さないことから、拡張した π 共役系が消光を誘起することも分かった。過渡吸収測定等もふまえ、4 位芳香環からコア部位への光誘起電子移動(PET)による消光であることを明らかにした(図 2b 上)。さらに、2b は CH_2Cl_2 中において Cl や Br との会合によって蛍光が回復し、コアユニットの電子状態の変化による PET の抑制が示唆された(図 2b 下)。一方、 CH_3CO_2 との会合では、NH 部位の脱プロトン型互変異性に起因する PET による消光を確認した($Chem.\ Commun.\ 2019, 55, 8242$)。

(3) 湾曲 π 電子系の自己集合によるバッキーボールの会合と光誘起高速電子移動

電子豊富なピロール環からなる湾曲分子の合成に 成功し、分子間の相互作用を巧みに利用した超分子 リングとその内部に球状分子を取り込んだ会合体の 構造とその電子機能の解明に成功した。今回合成し た湾曲分子は溶液中では湾曲の反転挙動を示すが、 結晶中では固定化され、水素結合によって6分子(12 個のピロール環) から構成されるリング構造を形成 する。リング内部の直径は約13 Å (1 Å は100 億分 の1メートル)であることから、電子不足な球状分 子であるフラーレン C60(直径 7.1 Å)を取り込むこ とを大型放射光施設 SPring-8 における単結晶 X 線構 造解析から明らかにした。リングを構成するすべて のピロール環は C_{60} に対して約3.2Åの距離で平行に 接近して配置し、中心に C60 が配置した土星型の会 合体を形成した。また、結晶中においてこの会合体 は一軸方向に規則配列した構造を示した。分子間(リ ングを構成する湾曲分子の間およびリングと C60 の 間)にはたらく相互作用を理論計算によって検証し



図 3 湾曲 π 電子系の水素結合集合体による C_{60} の会合

た。さらに、単結晶への光照射によって、リング(電子豊富)から C_{60} (電子不足)への高速電子移動を過渡吸収分光によって解明した。複数の構成ユニットの分子間相互作用を制御した集合体の創製とその機能の理解は、電子・光機能性材料の創製において非常に重要である。今回、一軸方向へ超分子リングの会合体が配列した結晶における光誘起高速電子移動を観測したことから、導電性材料などの有機エレクトロニクス材料の開発につながることが期待される。研究内容が評価され、米国化学会誌の Supplementary Cover に採択された(図3) (J. Am. Chem. Soc. 2020, I42, I6420)。

(4) 荷電 π 電子系の規則配列:相 互作用機構の解明と電子・光物性の 発現

ポルフィリン骨格を有するπ電 子系アニオンがカチオン種と相互 作用することを利用して、新たなイ オンペアとその集合体の構築に成 功した。電荷を持たないπ電子系 は、その平面構造のπ-π相互作用 によって集合体が形成され、電子機 能性材料への展開がなされている。 対照的に、荷電π電子系で構成され る集合体は新たな物性・機能性の発 現が期待されるものの、その詳細に 関する検証はこれまでに実施され ていなかった。荷電π電子系は相反 する電荷を有するイオンがペアを 作ることから、その組み合わせによ って多様な集合体や材料への展開 が可能になる。適切な荷電π電子系 がこれまでに開発されていなかっ

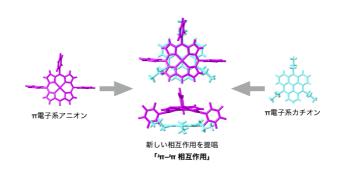


図 4 $^{i}\pi$ $^{-i}\pi$ 相互作用の概念

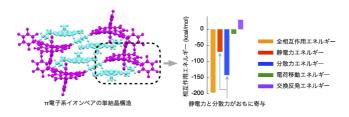


図5 π 電子系イオンペアの単結晶構造とエネルギー分割解析

たことから、荷電 π 電子系間にはたらく相互作用は十分に検証されていなかったが、われわれは $^{i}\pi^{-i}\pi$ 相互作用として新たに提唱した(図4)。荷電 π 電子系を適切に組み合わせることにより、アニンとカチオンの相対的な配置によって、多様な集合体形態が構築された(図5左)。イオンペア集合体の単結晶構造におけるエネルギー分割解析によっており、イオンペア集合体の単結晶構造におけるエネルギー分割解析によっており、元電子系イオンペアの積層構造を安定化していることを解明した(図5右)。

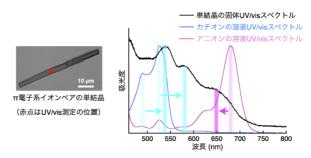


図 6 π 電子系イオンペアの単結晶における UV/vis 吸収スペクトル

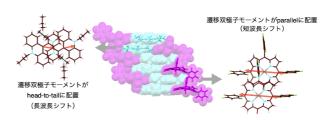


図7 吸収スペクトル変化と遷移双極子モーメントの関係

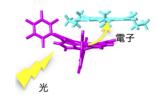


図8 荷電 π 電子系の光照射による電子移動

の特徴的な配列構造や物性に関する報告は今回がはじめてであり、将来の光触媒や光導電性材料への応用が期待される (*Chem. Sci.* **2021**, *12*, 9645)。

5 . 主な発表論文等

「雑誌論文 】 計42件(うち査読付論文 40件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 8件)

〔雑誌論文〕 計42件(うち査読付論文 40件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 8件)	
1 . 著者名 Fumoto Nobuhiro、Haketa Yohei、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Maeda Hiromitsu	4.巻 23
2.論文標題 -Electronic Ion-Pairing Assemblies of Deprotonation-Induced Anions	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Organic Letters	6.最初と最後の頁 3897~3901
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.orglett.1c00996	査読の有無 有
 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Kuno Atsuko、Hirata Goki、Tanaka Hiroki、Kobayashi Yoichi、Yasuda Nobuhiro、Maeda Hiromitsu	4.巻 27
2.論文標題 Dipyrrolyldiketone Pt ^{II} Complexes: Ion Pairing Electronic Systems with Various Anion Binding Modes	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Chemistry ? A European Journal	6.最初と最後の頁 10068~10076
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.202100855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Sasano Yoshifumi、Tanaka Hiroki、Haketa Yohei、Kobayashi Yoichi、Ishibashi Yukihide、Morimoto Tatsuki、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Asahi Tsuyoshi、Maeda Hiromitsu	4.巻 12
2.論文標題 Ion-pairing -electronic systems: ordered arrangement and noncovalent interactions of negatively charged porphyrins	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Chemical Science	6.最初と最後の頁 9645~9657
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d1sc02260a	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Sugiura Shinya、Maeda Hiromitsu	4.巻 57
2 . 論文標題 Pyrrole-bridged quinones: -electronic systems that modulate electronic structures by tautomerism and deprotonation	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Chemical Communications	6.最初と最後の頁 6983~6986
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d1cc02691g	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
Yamasumi Kazuhisa、Maeda Hiromitsu	94
2 . 論文標題	5 . 発行年
Charged Porphyrins: -Electronic Systems That Form Ion-Pairing Assembled Structures	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Bulletin of the Chemical Society of Japan	2252 ~ 2262
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1246/bcsj.20210232	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カープンテクと人とはない、人はカープンテクと人が四邦	-
1. 著者名	4. 巻
Yamakado Ryohei, Maeda Hiromitsu	25
2 . 論文標題	5 . 発行年
Dianion complexes of pyrrole-based anion receptors: [2+1]-Type complexes that form ion-pairing assemblies	2021年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Porphyrins and Phthalocyanines	1126 ~ 1132
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1142/\$1088424621501078	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Maeda Hiromitsu、Haketa Yohei、Murata Tomoki、Ohta Eriko、Murata Tai、Yasuda Nobuhiro	19
2.論文標題	5 . 発行年
Self-assemblies of anionic-unit-introduced anion-responsive -electronic molecules	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Organic & amp; Biomolecular Chemistry	7369 ~ 7373
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>
10.1039/d1ob01094h	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Yamasumi Kazuhisa、Sugiura Shinya、Tanaka Hiroki、Maeda Hiromitsu	80
2.論文標題	5.発行年
Charged -Electronic Systems That Provide Assembled Structures	2022年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Synthetic Organic Chemistry, Japan	232 ~ 245
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.5059/yukigoseikyokaishi.80.232	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

Satio Ryota, (Daj ima Hajine, Suglura Shirnya, Haketa Yohei, Kinoshita Yusuke, Tamiaki Hitoshi, Sakanato Akir, Neada Hironitsu, Kabayahi Vicinit 2. 指文搭置		,
Sakanoto Akira、 Naded Hironitsu, Kobayashi Yolchi 2. 前文博型 Excited-state dynamics of dipyrrolyldikatone difluoroboron complexes 3. 締結名 3. 締結名 Physical Chemistry Chemical Physics 6. 通形と最後の頁 100.1039/dtcp04804j 第本プラクセス 7ープンアクセス 1. 著名名 Takiguchi Asahi, Tanaka Hiroki, Maeda Hironitsu, Shinokubo Hiroshi 2. 論文権題 Physical Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Physical Chemistry Chemical Society of Japan 7. 第20000 (デジタルオブジェクト温刷子) 10.1246/rosp. 120220026 1. 著名名 Sulfutin of the Chemical Society of Japan 8. 第20000 (デジタルオブジェクト温刷子) 10.1246/rosp. 120220026 1. 著名名 Sugiura Shinya, Naeda Hironitsu 2. 論文権理 Phyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 締結名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 8. 編結名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 1. 素名名 Song Shootang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangsu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Glu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu, Zhang Chun, Lu Jing, Nu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Nu Jishan, Maeda Hironitsu,	1 . 著者名 Sato Ryota、Okajima Hajime、Sugiura Shinya、Haketa Yohei、Kinoshita Yusuke、Tamiaki Hitoshi、	4.巻 24
Excited-state dynamics of dipyrrolyldiketone diffuoroboron complexes 3 . 利益名 Physical Chemistry Chemical Physics 6 . 最初と是後の頁 1685 - 1691 超調及の2001 (デジタルオブジェクト部別子) 10 .1039/dtopt40e04) 第		
Excited-state dynamics of dipyrrolyldiketone diffuoroboron complexes 3 . 利益名 Physical Chemistry Chemical Physics 6 . 最初と是後の頁 1685 - 1691 超調及の2001 (デジタルオブジェクト部別子) 10 .1039/dtopt40e04) 第		5 . 発行年
Physical Chemistry Chemical Physics 1685 - 1691 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 18 18 18 18 18 18		
Physical Chemistry Chemical Physics 1685 - 1691 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 1685 - 1691 18 18 18 18 18 18 18	3.雑誌名	6、最初と最後の百
### 2000 (デジタルオブジェクト護朋子)		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが開業 - コープンアクセスではない、大いでは、Shinokubo Hiroshi 5・発行年 2022年 Pentacyanocyclopentadienide - 2022年 Pentacyanocyclopentadienide - 3・開発者 Bulletin of the Chemical Society of Japan - 5・発行年 2022年 Pentacyanocyclopentadienide - 75・最初と母後の頁 756・801	Thysroat olembary dismisari Physics	1000 1001
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回離 1 . 著名名 Takiguchi Asahi、Tanaka Hiroki、Maeda Hiromitsu、Shinokubo Hiroshi 2 . 論文標題 Diverse Crystal Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Pentacyanocyclopentadienide Pentacyanocyclopentadienide 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan おおいたののは(デジタルオプジェクト議別子) 10.1246/bcsj、202200268 大ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回離 1 . 著名名 Sugiura Shinya、Maeda Hiromitsu 2 . 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3 . 稀誌名 Organic Aamp; Biomolecular Chemistry おおいたののでは、アンタウセスではない、又はオープンアクセスが回離 日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本ので	<u> </u> 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
1. 著名名 Takiguchi Asahi, Tanaka Hiroki, Maeda Hiromitsu, Shinokubo Hiroshi 2. 論文標題 Diverse Crystal Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Pentacyanocyclopentadienide 3. 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 3. 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 4. 巻 10.1246/bcsj. 20220026 3. 雑誌名 3. 神子アクセス 3. 神子アクセス 3. 神子アクセス 3. オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 15. 著名名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 1. 著名名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 種語名 Organic & Amp; Biomolecular Chemistry 3. 種語名 Organic & Amp; Biomolecular Chemistry 4. 巻 1. 著名名 Song Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3. 神話名 Journal of the American Chemical Society 4. 章語の有無 有	10.1039/d1cp04804j	無
1. 著名名 Takiguchi Asahi, Tanaka Hiroki, Maeda Hiromitsu, Shinokubo Hiroshi 2. 論文標題 Diverse Crystal Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Pentacyanocyclopentadienide 3. 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 3. 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 4. 巻 10.1246/bcsj. 20220026 3. 雑誌名 3. 神子アクセス 3. 神子アクセス 3. 神子アクセス 3. オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 15. 著名名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 1. 著名名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 種語名 Organic & Amp; Biomolecular Chemistry 3. 種語名 Organic & Amp; Biomolecular Chemistry 4. 巻 1. 著名名 Song Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3. 神話名 Journal of the American Chemical Society 4. 章語の有無 有	オープンアクセス	国際共著
Takiguchi Asahi, Tanaka Hiroki, Maeda Hiromitsu, Shinokubo Hiroshi 95 2. 論文標題 Diverse Crystal Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Pentacyanocyclopentadienide 2022年 Pentacyanocyclopentadienide 66 3. 議誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 66 最初と最後の頁 796~801 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査談の有無 無		-
Takiguchi Asahi, Tanaka Hiroki, Maeda Hiromitsu, Shinokubo Hiroshi 95 2. 論文標題 Diverse Crystal Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Pentacyanocyclopentadienide 2022年 Pentacyanocyclopentadienide 66 3. 議誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 66 最初と最後の頁 796~801 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査談の有無 無	1	4
2. 論文標題 Diverse Crystal Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Particoyanocyclopentadienide 3. 種語名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 「表著名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 1. 著者名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 種語名 Organic Samp, Biomolecular Chemistry 「表著名 「Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Pyrrole-dased anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 種語名 スープンアクセス オープンアクセス 「表著名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 1. 著者名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 1. 表書名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Aープンアクセス オープンアクセス 「国際共著 オープンアクセスのはない、又はオープンアクセスが困難 「主義名 Sung Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Juo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Inaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 西藤語の有無 1. 表書名 Sugina Anima Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Inaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 西藤の有無 1. 表書名 Sugina Anima Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Inaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 西藤記念の有無 1. 表書名 Sugina Anima Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 A . 巻 1. 表書名 Sugina Anima Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 1. 表書名 Sugina Anima Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標面 Real-Space Inaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society		
Diverse Crystal Structures of Ion Pairs Consisting of Oxaporphyrinium Cations and Pentacyanocyclopentadienide 3 . 雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 信義論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1246/bcsj : 20220026 #無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2 . 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3 . 雑誌名 Organic & Biomolecular Chemistry #表表名 Sung Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 1 . 養者名 Sung Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong Real-Space Inaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3 . 雑誌名 Journal of the American Chemical Society ###################################	Taking as in Figure 11 Toking massaci 11 Toking String Research	
Pentacyanocyclopentadienide 3	2.論文標題	5 . 発行年
3 ・雑誌名 Bulletin of the Chemical Society of Japan 6 ・最初と最後の頁 796-801 18戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20220026 第一大フンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ・著者名 Suglura Shinya、Maeda Hiromitsu 2 ・論文標題 Pyrrole-based anion-responsive relectronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3 ・雑誌名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 18戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/dobb00952k オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ・著者名 Sung Shaotang、Guo Na、Li Xinzhe、Li Guangwu、Haketa Yohei、Telychko Mykola、Su Jie、Lyu Pin、Qiu Zhizhan、Fang Hanyan、Peng Xinnan、Li Jing、Mu Xinbang、Li Ying、Su Chenliang、Koh Ming Joo、Wu Jishan、Maeda Hiromitsu、Zhang Chun、Lu Jing、Mu Xinbang、Li Ying、Su Chenliang、Koh Ming 2 ・論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3 ・雑誌名 Journal of the American Chemical Society 1 を表現と最後の頁 13550~13557 18戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c05337		2022年
Bulletin of the Chemical Society of Japan 796-801 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 直読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 18	, , ,	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Sugiura Shinya、 Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 確認名 Organic & Biomolecular Chemistry 措動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Song Shaotang、 Guo Na、Li Xinzhe、Li Guangwu、 Haketa Yohei、 Telychko Mykola、 Su Jie、 Lyu Pin、 Qiu Zhizhan、 Fang Hanyan、 Peng Xinnan、 Li Jing、 Wu Xinbang、 Li Ying、 Su Chenliang、 Koh Ming Joo、 Wu Jishan、 Maeda Hiromitsu、 Zhang Chun、 Lu Jiong 1. 連絡記名 2. 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 直読の有無 1. 1. 2		
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 ・著者名 Sugiura Shinya、Maeda Hiromitsu 1 ・ 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 multiple stimuli 3 ・ 雑誌名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 5 ・ 発行年 2020年 4433 - 4438		
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 ・著者名 Sugiura Shinya、Maeda Hiromitsu 1 ・ 2 ・ 論文標題 5 ・ 発行年 2020年 multiple stimuli 3 ・ 雑誌名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 5 ・ 発行年 2020年 4433 - 4438	<u> </u> 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u>」</u> 査読の有無

***	オープンアクセス	国際共業
Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 雑誌名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 6. 最初と最後の頁 4433~4438 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0ob00952k 1. 著名名 Song Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Oiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 1a戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c05337 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 13550~13557	· · · · · · = · ·	-
Sugiura Shinya, Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 雑誌名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 6. 最初と最後の頁 4433~4438 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0ob00952k 7ープンアクセス 本ープンアクセス 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Song Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 在読の有無 10.1021/jacs.0c05337 在読の有無 有		T
2. 論文標題 Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3. 雑誌名 Organic & amp; Biomolecular Chemistry 信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0ob00952k 周本・プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Song Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2. 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 5. 発行年 2020年 4. 巻 142 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 13550~13557 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c05337 6 読の有無 有	—	_
Pyrrole-based anion-responsive -electronic molecules as fluorescence sensors responsive to multiple stimuli 3 . 雑誌名 Organic & Amp; Biomolecular Chemistry	Sugiura Shinya、Maeda Hiromitsu	18
multiple stimuli 3.雑誌名 Organic & Biomolecular Chemistry 超載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0ob00952k オープンアクセス 1. 著者名 Song Shaotang, Guo Na、Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie、Lyu Pin、Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2.論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3.雑誌名 Journal of the American Chemical Society 5.発行年 2020年 3.雑誌名 Journal of the American Chemical Society 查読の有無 10.1021/jacs.0c05337 查読の有無 有		5.発行年
3 . 雑誌名 Organic & Samp; Biomolecular Chemistry 信託の有無 10.1039/d0ob00952k 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Song Shaotang, Guo Na, Li Xinzhe, Li Guangwu, Haketa Yohei, Telychko Mykola, Su Jie, Lyu Pin, Qiu Zhizhan, Fang Hanyan, Peng Xinnan, Li Jing, Wu Xinbang, Li Ying, Su Chenliang, Koh Ming Joo, Wu Jishan, Maeda Hiromitsu, Zhang Chun, Lu Jiong 2 . 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3 . 雑誌名 Journal of the American Chemical Society お . 最初と最後の頁 13550~13557 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c05337 査読の有無 有		2020年
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 日際共著 日本		6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d0ob00952k and and and and and and and an		
10.1039/d0ob00952k 有		
10.1039/d0ob00952k 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
- オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名 Song Shaotang、Guo Na、Li Xinzhe、Li Guangwu、Haketa Yohei、Telychko Mykola、Su Jie、Lyu Pin、Qiu Zhizhan、Fang Hanyan、Peng Xinnan、Li Jing、Wu Xinbang、Li Ying、Su Chenliang、Koh Ming Joo、Wu Jishan、Maeda Hiromitsu、Zhang Chun、Lu Jiong 5.発行年 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 5.発行年 2020年 3.雑誌名 Journal of the American Chemical Society 6.最初と最後の頁 13550~13557 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		_
- オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1.著者名 Song Shaotang、Guo Na、Li Xinzhe、Li Guangwu、Haketa Yohei、Telychko Mykola、Su Jie、Lyu Pin、Qiu Zhizhan、Fang Hanyan、Peng Xinnan、Li Jing、Wu Xinbang、Li Ying、Su Chenliang、Koh Ming Joo、Wu Jishan、Maeda Hiromitsu、Zhang Chun、Lu Jiong 5.発行年 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 5.発行年 2020年 3.雑誌名 Journal of the American Chemical Society 6.最初と最後の頁 13550~13557 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	 オープンアクセス	国際共著
Song Shaotang、Guo Na、Li Xinzhe、Li Guangwu、Haketa Yohei、Telychko Mykola、Su Jie、Lyu Pin、Qiu Zhizhan、Fang Hanyan、Peng Xinnan、Li Jing、Wu Xinbang、Li Ying、Su Chenliang、Koh Ming Joo、Wu Jishan、Maeda Hiromitsu、Zhang Chun、Lu Jiong 2 . 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3 . 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 13550~13557		-
Song Shaotang、Guo Na、Li Xinzhe、Li Guangwu、Haketa Yohei、Telychko Mykola、Su Jie、Lyu Pin、Qiu Zhizhan、Fang Hanyan、Peng Xinnan、Li Jing、Wu Xinbang、Li Ying、Su Chenliang、Koh Ming Joo、Wu Jishan、Maeda Hiromitsu、Zhang Chun、Lu Jiong 2 . 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3 . 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 13550~13557		4 . 巻
Qiu Zhizhan、Fang Hanyan、Peng Xinnan、Li Jing、Wu Xinbang、Li Ying、Su Chenliang、Koh Ming Joo、Wu Jishan、Maeda Hiromitsu、Zhang Chun、Lu Jiong 2 . 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3 . 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 4 載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c05337		
Joo、Wu Jishan、Maeda Hiromitsu、Zhang Chun、Lu Jiong 2 . 論文標題 Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 3 . 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c05337 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 13550~13557		·
Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 2020年 3.雑誌名 Journal of the American Chemical Society 6.最初と最後の頁 13550~13557 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 有		
Real-Space Imaging of a Single-Molecule Monoradical Reaction 2020年 3.雑誌名 Journal of the American Chemical Society 6.最初と最後の頁 13550~13557 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 有		5、発行年
3.雑誌名 Journal of the American Chemical Society		
Journal of the American Chemical Society 13550~13557 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1021/jacs.0c05337 有		
10.1021/jacs.0c05337 有	Journal of the American Chemical Society	13550 ~ 13557
10.1021/jacs.0c05337 有		
,		
+ 1\ 7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	10.1021/jacs.0c05337	有
	オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

│ 1.著者名	4 . 巻
Maeda Hiromitsu	6
madd TTT-0mTt3d	
0. 44-1-199	= 74.7-1-
2.論文標題	5.発行年
Charge-by-Charge Ion Pairing Preserves Fluorescence Emission	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Chem	1847 ~ 1849
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.chempr.2020.07.021	有
10.1010/ J.Criempt .2020.07.021	FF.
1	C Chr. 11 +++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Haketa Yohei、Kamada Kenji、Maeda Hiromitsu	85
2 . 論文標題	5.発行年
Anion Responsive Molecules That Exhibit Switching of Two Photon Optical Properties	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ChemPlusChem	1719 ~ 1729
OHOME TOOTION	1713 1723
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/cplu.202000503	有
16.11002/36/14.20200000	
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
Schmidt Alexandra, Heinrich Benoit, Kirscher Guillaume, Chaumont Alain, Henry Marc, Kyritsakas	59
Nathalie、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Mobian Pierre	
	5 . 発行年
2 . 論文標題	5 . 発行年
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures:	5 . 発行年 2020年
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties	2020年
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures:	
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties	2020年
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry	2020年 6 . 最初と最後の頁 12802~12816
2. 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry	2020年 6 . 最初と最後の頁 12802~12816
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する
2. 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年
2. 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2.論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2.論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2.論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2.論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3.雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2.論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
2. 論文標題 DipyrrolyIdiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 16420~16428
2. 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 16420~16428
2. 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 16420~16428
2. 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 16420~16428
2. 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 16420~16428
2 . 論文標題 Dipyrrolyldiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3 . 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2 . 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3 . 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c07751 オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 16420~16428
2. 論文標題 DipyrrolyIdiketonato Titanium(IV) Complexes from Monomeric to Multinuclear Architectures: Synthesis, Stability, and Liquid-Crystal Properties 3. 雑誌名 Inorganic Chemistry 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.inorgchem.0c01846 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Haketa Yohei、Miyasue Mika、Kobayashi Yoichi、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Yasuda Nobuhiro、Tamai Naoto、Maeda Hiromitsu 2. 論文標題 Self-Associating Curved -Electronic Systems with Electron-Donating and Hydrogen-Bonding Properties 3. 雑誌名 Journal of the American Chemical Society 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/jacs.0c07751	2020年 6.最初と最後の頁 12802~12816 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 142 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 16420~16428

1.著者名 Nakamura Kazuto、Sugiura Shinya、Araoka Fumito、Aya Satoshi、Takanishi Yoichi、Watanabe Go、Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Maeda Hiromitsu 2.論文標題 Conformation-Changeable -Electronic Systems with Metastable Bent-Core Conformations and Liquid-Crystalline-State Electric-Field-Responsive Properties	4.巻 23
Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Maeda Hiromitsu 2 . 論文標題 Conformation-Changeable -Electronic Systems with Metastable Bent-Core Conformations and	23
Sato Ryuma、Shigeta Yasuteru、Maeda Hiromitsu 2 . 論文標題 Conformation-Changeable -Electronic Systems with Metastable Bent-Core Conformations and	20
2 .論文標題 Conformation-Changeable -Electronic Systems with Metastable Bent-Core Conformations and	
Conformation-Changeable -Electronic Systems with Metastable Bent-Core Conformations and	5.発行年
	2020年
	2020-
	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
Organic Letters	305 ~ 310
『『『『『『『『『『『『『』』 『『『『『』 『『『』 『『『』 『『』 『『	査読の有無
10.1021/acs.orglett.0c03791	有
t − プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カープラックと外にはないに、人はカープラックとハガー四無	_
1 英名夕	4 . 巻
1 . 著者名	
Kuno Atsuko、Maeda Hiromitsu	26
2 . 論文標題	5 . 発行年
Nitro-Substituted Dipyrrolyldiketone BF2 Complexes as Electronic-State-Adjustable Anion-	2021年
Responsive -Electronic Systems	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Molecules	595~595
MOTECUTES	595 ~ 595
	1 + + + - + + + + + + + + + + + + + + +
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/molecules26030595	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Haketa Yohei, Maeda Hiromitsu	26
2 . 論文標題	5.発行年
Supramolecular Assemblies of Dipyrrolyldiketone Cull Complexes	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Molecules	861 ~ 861
	001 001
morecures	
MOTOGOTOS	
	本芸の左無
 	査読の有無
	 査読の有無 有
	有
	有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有 国際共著 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda	有 国際共著
 園載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji	有 国際共著 - 4.巻 60
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji 2.論文標題	有 国際共著 -
 園載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji	有 国際共著 - 4.巻 60
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji 2.論文標題	有 国際共著 - 4.巻 60 5.発行年
 園載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji 2.論文標題 Syntheses and Physical Properties of Cationic BN Embedded Polycyclic Aromatic Hydrocarbons	有 国際共著 - 4.巻 60 5.発行年 2021年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji 2.論文標題 Syntheses and Physical Properties of Cationic BN Embedded Polycyclic Aromatic Hydrocarbons 3.雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 60 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
 園載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji 2.論文標題 Syntheses and Physical Properties of Cationic BN Embedded Polycyclic Aromatic Hydrocarbons	有 国際共著 - 4.巻 60 5.発行年 2021年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji 2.論文標題 Syntheses and Physical Properties of Cationic BN Embedded Polycyclic Aromatic Hydrocarbons 3.雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 60 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 60 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12835~12840
	有 国際共著 - 4 . 巻 60 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12835~12840
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 60 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12835~12840
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26040861 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Gotoh Hajime、Nakatsuka Soichiro、Tanaka Hiroki、Yasuda Nobuhiro、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Hatakeyama Takuji 2. 論文標題 Syntheses and Physical Properties of Cationic BN Embedded Polycyclic Aromatic Hydrocarbons 3. 雑誌名 Angewandte Chemie International Edition	有 国際共著 - 4 . 巻 60 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12835~12840
	有 国際共著 - 4 . 巻 60 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 12835~12840

1 . 著者名 Yamakado Ryohei、Kitamura Issei、Hara Mitsuo、Nagano Shusaku、Seki Takahiro、Maeda Hiromitsu	4.巻 57
2 . 論文標題 Photoisomerization-induced patterning of ion-pairing materials based on anionic azobenzene and	5.発行年 2021年
its complex with a fluorescent -electronic system	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Chemical Communications	4287 ~ 4290
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1039/d0cc07640f	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
カープラックと人にはない、人はカープラックと人が四年	
1 . 著者名	4 . 巻
	12
Kinoshita Tomokazu、Haketa Yohei、Maeda Hiromitsu、Fukuhara Gaku	12
2.論文標題	5 . 発行年
Ground- and excited-state dynamic control of an anion receptor by hydrostatic pressure	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Chemical Science	6691 ~ 6698

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/d1sc00664a	査読の有無 有
10.1000/ d1300000 1 4	i i
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 ****/P	1
1 . 著者名	4 . 巻
Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Sato, R.; Shigeta, Y.; Yasuda, N.; Maeda, H.	25
2 . 論文標題	5.発行年
Pyrrole-Based -System-Ptll Complexes: Chiroptical Properties and Excited-State Dynamics with	2019年
Microsecond Triplet Lifetimes	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Chem. Eur. J.	8797 ~ 8804
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
悸軋論又のDOT(デンタルオフシェクト誠別士) 10.1002/chem.201900848	
	有
	国際共著
	_
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 84
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H.	84
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H.	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising Anion Complexes of -Extended Anion-Responsive Molecules	84 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising Anion Complexes of -Extended Anion-Responsive Molecules	5 . 発行年
1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising Anion Complexes of -Extended Anion-Responsive Molecules 3 . 雑誌名 J. Org. Chem.	84 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 8886~8898
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising Anion Complexes of -Extended Anion-Responsive Molecules 3 . 雑誌名 J. Org. Chem.	84 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 8886~8898
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising Anion Complexes of -Extended Anion-Responsive Molecules 3 . 雑誌名 J. Org. Chem.	84 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 8886~8898
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sugiura, S.; Matsuda, W.; Zhang, W.; Seki, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising Anion Complexes of -Extended Anion-Responsive Molecules 3 . 雑誌名 J. Org. Chem.	84 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 8886~8898

1.著者名	
· ·	4.巻
Yamakado, R.; Haketa, Y.; Hara, M.; Nagano, S.; Seki, T.; Maeda, H.	55
2 . 論文標題	5 . 発行年
······	
Photo-responsive dimension-controlled ion-pairing assemblies based on anion complexes of	2019年
electronic systems	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Chem. Commun.	10269 ~ 10272
Chair. Commun.	10200 10272
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	直読の有無
10.1039/c9cc05632g	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	24
Kuno, A.; Nakamura, K.; Kikkawa, Y.; Maeda, H.	24
2 AALERE	F 7%/= /T
2 . 論文標題	5.発行年
meso-Free dipyrrins: Formation of assembled structures including a 2D ordered pattern	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J. Porphyrins Phthalocyanines	75~83
o. rorphyrma ritharocyannies	75 05
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1142/\$1088424619500640	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
3 フファフ Cハ C IO G V I、 人 IO 3 フファフ C A J I 四和	
. #46	1 a 34
1.著者名	4 . 巻
Kita, H.; Yamakado, R.; Fukuuchi, R.; Konishi, T.; Kamada, K.; Haketa, Y.; Maeda, H.	26
2 . 論文標題	5 . 発行年
Switching of Two-Photon Optical Properties by Anion Binding of Pyrrole-Based Boron Diketonates	2020年
	2020+
through Conformation Change	
7 7/FT 67	
5.粧砣石	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Chem. Eur. J.	6.取例と取扱の貝 3404~3410
3.雑誌名 Chem. Eur. J.	
Chem. Eur. J.	3404 ~ 3410
Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	3404 ~ 3410 査読の有無
Chem. Eur. J.	3404 ~ 3410
Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467	3404 ~ 3410 査読の有無 有
Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス	3404 ~ 3410 査読の有無
Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467	3404 ~ 3410 査読の有無 有
Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス	3404 ~ 3410 査読の有無 有
R載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	3404~3410 査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 -
R載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	3404 ~ 3410 査読の有無 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H.	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15
括載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H.	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 -
Riting Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2.論文標題	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15
Righia Region Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AullI Complexes in Combination with -Electronic Receptor-	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15
R載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2.論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AullI Complexes in Combination with -Electronic Receptor-Anion Complexes	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2020年
R載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2.論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AullI Complexes in Combination with -Electronic Receptor-Anion Complexes 3.雑誌名	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
根載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 15 5.発行年 2020年
Righia Chem. Eur. J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AullI Complexes in Combination with -Electronic Receptor-Anion Complexes 3 . 雑誌名	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AullI Complexes in Combination with -Electronic Receptor-Anion Complexes 3. 雑誌名 Chem. Asian J.	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 494~498
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AullI Complexes in Combination with -Electronic Receptor-Anion Complexes 3. 雑誌名 Chem. Asian J.	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
R載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AulII Complexes in Combination with -Electronic Receptor-Anion Complexes 3 . 雑誌名 Chem. Asian J.	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 494~498
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 494~498
R載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Bando, Y.; Yamakado, R.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Ion-Pairing Assemblies of Porphyrin-AullI Complexes in Combination with -Electronic Receptor-Anion Complexes 3. 雑誌名 Chem. Asian J. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/asia.201901694	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 494~498 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/chem.201905467 オープンアクセス	3404~3410 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 15 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 494~498

	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
Watanabe, Y.; Haketa, Y.; Nakamura, K.; Kaname, S.; Yasuda, N.; Maeda, H.	26
2 2 4 4 5 5	F 361-7-
2. 論文標題	5.発行年
Arylethynyl Groups That Modulate Anion-Binding and Assembling Modes of Rod- and Fan-Shaped	2020年
Electronic Systems	C = 711. = 14. A =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Chem. Eur. J.	6767 ~ 6772
曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1002/chem.202000634	有
10.1002/ Criem. 202000634	月
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	•
1.著者名	4 . 巻
Kobayashi Osamu, Kato Tomoki, Mashiko Takako, Haketa Yohei, Maeda Hiromitsu, Tachikawa Masanor	i 10
,,,,,,,,,,,,,,	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Computational simulation of anion binding association mechanisms contributing toward rotation	2020年
of pyrrole rings in dipyrrolyldiketone BF ₂ complexes	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
RSC Advances	12013 ~ 12024
	.2010 .2021
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1039/c9ra09285d	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4	1 A 344
1 . 著者名	4 . 巻
Haketa, Y.; Urakawa, K.; Maeda, H.	5
2	F 25/=/=
2 . 論文標題	5.発行年
First decade of -electronic ion-pairing assemblies	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** * *	
Mol. Syst. Des. Eng.	0. 取別と取扱の貝 757~771
Mol. Syst. Des. Eng.	
Mol. Syst. Des. Eng.	757 ~ 771
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b	757~771 査読の有無 有
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス	757~771
Mol. Syst. Des. Eng. 場載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b	757~771 査読の有無 有
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	757~771 査読の有無 有 国際共著
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	757~771 査読の有無 有 国際共著 -
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	757~771 査読の有無 有 国際共著
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H.	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 23
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2.論文標題	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 23 5 . 発行年
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive -Electronic Systems That Exhibit Diverse Conformations and Stoichiometries	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 23
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive -Electronic Systems That Exhibit Diverse Conformations and Stoichiometries in Anion Binding	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23 5.発行年 2020年
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive rin Anion Binding 3. 雑誌名	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive -Electronic Systems That Exhibit Diverse Conformations and Stoichiometries in Anion Binding	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23 5.発行年 2020年
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive -Electronic Systems That Exhibit Diverse Conformations and Stoichiometries in Anion Binding 3. 雑誌名	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive in Anion Binding 3. 雑誌名 Eur. J. Org. Chem.	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 23 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3491~3498
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Anion-Responsive in Anion Binding 3 . 雑誌名 Eur. J. Org. Chem.	757~771 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 23 - 5 . 発行年 2020年 - 6 . 最初と最後の頁 3491~3498 - 査読の有無
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive in Anion Binding 3. 雑誌名 Eur. J. Org. Chem.	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 23 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 3491~3498
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive in Anion Binding 3. 雑誌名 Eur. J. Org. Chem.	757~771 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 23 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 3491~3498 査読の有無 有
Mol. Syst. Des. Eng. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c9me00183b オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Sugiura, S.; Yasuda, N.; Maeda, H. 2. 論文標題 Anion-Responsive in Anion Binding 3. 雑誌名 Eur. J. Org. Chem.	757~771 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 23 - 5 . 発行年 2020年 - 6 . 最初と最後の頁 3491~3498 - 査読の有無

	A 244
1. 著者名	4.巻
Kaneko, K.; Goto, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.; Hanasaki, T.	47
2.論文標題	5.発行年
Induced Homeotropic Alignment of Nematic Liquid Crystals by Doping Side-on Carbosilane-based	2018年
Oligomers	
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁

Chemistry Letters	1180 ~ 1183
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1246/cl.180509	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3 JOY JEN CINGS (XIXI) JOY JENN EINE	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Maeda, H.; Okubo, T.; Haketa, Y.; Yasuda, N.	24
2.論文標題	5.発行年
Pyrrole-Based Zwitterionic -Electronic Systems That Form Self-Assembled Dimers	2018年
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · ·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	16176~16182
Chemistry - A European Journal	10170~10102
Translate N	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/chem.201803796	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
3 DDD DEN CHORDY AND DDD CAN BEEN	<u> </u>
1	4 *
1 . 著者名	4.巻
Zhan,YY.; Kojima, T.; Nakamura, T.; Takahashi, T.; Takahashi, S.; Haketa, Y.; Shoji, Y.;	9
Maeda, H.; Fukushima, T.; Hiraoka, S.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Induced-fit expansion and contraction of a self-assembled nanocube finely responding to neutral	
and anionic guests	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁

Nature Communications	4530
	<u> </u>
現載論文のDOL(デジタルオフジェクト部別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>.</u>
10.1038/s41467-018-06874-y	有
10.1038/s41467-018-06874-y	有
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス	有
10.1038/s41467-018-06874-y	有
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 -
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 -
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.	有 国際共著 - 4.巻 14
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.	有 国際共著 - 4.巻 14
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 14 5.発行年
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes	有 国際共著 - 4.巻 14 5.発行年 2019年
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes	有 国際共著 - 4.巻 14 5.発行年 2019年
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes 3 . 雑誌名 Chemistry - An Asian Journal	有 国際共著 - 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1777~1785
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes 3 . 雑誌名 Chemistry - An Asian Journal	有 国際共著 - 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1777~1785
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes 3. 雑誌名 Chemistry - An Asian Journal	有 国際共著 - 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1777~1785
10.1038/s41467-018-06874-y オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Kuno, A.; Fujiwara, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 論文標題 Arylpyrrolyldiketone Boron Complexes Exhibiting Various Anion-Binding Modes Based on Dynamic Conformation Changes 3. 雑誌名 Chemistry - An Asian Journal	有 国際共著 - 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1777~1785

1. 著者名 Yamakado, R.; Ishibashi, H.; Motoyoshi, Y.; Yasuda, N.; Maeda, H.	4.巻 55
2.論文標題 Ion-pairing assemblies based on -extended dipyrrolylquinoxalines	5.発行年 2019年
3.雑誌名 Chemical Communications	6.最初と最後の頁 326~329
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c8cc08205g	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Naito, W.; Urakawa, K.; Sato, R.; Shigeta, Y.; Yasuda, N.; Maeda, H.	4.巻 17
2.論文標題 Quadruply N-methylated octaphyrin: a helical macrocycle exhibiting chiroptical properties and dynamic conformation changes correlated with helical and inner N-methyl orientations	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Organic & Biomolecular Chemistry	6 . 最初と最後の頁 1163~1168
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c8ob03161d	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1. 著者名 Zhan, YY.; Kojima, T.; Ishii, K.; Takahashi, S.; Haketa, Y.; Maeda, H.; Uchiyama, S.; Hiraoka, S.	4.巻
2.論文標題 Temperature-controlled repeatable scrambling and induced-sorting of building blocks between cubic assemblies	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Nature Communications	6 . 最初と最後の頁 1440
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-09495-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Haketa, Y.; Bando, Y.; Sasano, Y.; Tanaka, H.; Yasuda, N.; Hisaki, I.; Maeda, H.	4.巻 14
2.論文標題 Liquid Crystals Comprising -Electronic Ions from Porphyrin-AullI Complexes	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 iScience	6.最初と最後の頁 241~256
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2019.03.027	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1 . 著者名 Sasano, Y.; Haketa, Y.; Tanaka, H.; Yasuda, N.; Hisaki, I.; Maeda, H.	4.巻 25
2.論文標題 Peripheral Modifications of meso Hydroxyporphyrins: Formation of Electronic Anions and Ion Pairing Assemblies	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Chemistry - A European Journal	6 . 最初と最後の頁 6712~6717
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201901095	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Tanaka Hiroki、Haketa Yohei、Yasuda Nobuhiro、Maeda Hiromitsu	4.巻 14
2.論文標題 Substitution Pattern and Counteranion Depending Ion Pairing Assemblies Based on Electron Deficient Porphyrin?Au ^{III} Complexes	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Chemistry - An Asian Journal	6 . 最初と最後の頁 2129~2137
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/asia.201900422	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
[学会発表] 計239件(うち招待講演 25件/うち国際学会 71件)	
1.発表者名 前田大光	
2.発表標題 荷電 電子系のイオンペアリング集合化	
3.学会等名 大阪大学講演会(招待講演)	
4. 発表年 2021年	
1.発表者名	
木下智和・羽毛田洋平・前田大光・福原学	
2.発表標題 静水圧で動的制御可能な蛍光フォルダマーによるアニオンセンシング	

3.学会等名

4.発表年 2021年

第81回分析化学討論会

1 . 発表者名 Yamasumi, K.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Ion Pairing of Covalently Linked -Electronic Cation Dimer
3.学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Pyrrole-Bridged Quinones: -Electronic Systems That Modulate Electronic Structures by Tautomerism and Deprotonation
3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Tanaka, H.; Sasano, Y.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2.発表標題 Noncovalent Interactions in -Electronic Ion-Pairing Assemblies and Resulting Physical Properties
3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Miyamoto, Y.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Self-Associating Anion-Responsive Molecules with -Extended Anionic Unit
3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会)
4.発表年

2021年

1.発表者名
Abiko, T.; Maeda, H.
2.発表標題
Assemblies of Nitrogen-Containing -Electronic Systems Derived from 1,3-Diketone Skeleton
3 . 学会等名
16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名 Ishikawa, S.; Maeda, H.
isiinawa, o., madaa, ii.
2.発表標題
Synthesis of Norcorroles with Assembling Ability
3.学会等名
16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名 Hirajohi N.: Hakata X.: Maada H
1 . 発表者名 Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会)
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3 . 学会等名
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4 . 発表年 2021年
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3. 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21) (国際学会) 4. 発表年 2021年
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4 . 発表年 2021年
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3. 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21) (国際学会) 4. 発表年 2021年
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3. 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3. 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3. 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H. 2. 発表標題 Peripheral Modifications of Charged Porphyrins as Building Units of Ion-Pairing Assemblies
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3. 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H.
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21) (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Peripheral Modifications of Charged Porphyrins as Building Units of Ion-Pairing Assemblies 3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21) (国際学会)
Hiraishi, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin Zwitterions: Electronic Properties and Ordered Arrangement 3. 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Fujii, R.; Maeda, H. 2. 発表標題 Peripheral Modifications of Charged Porphyrins as Building Units of Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名

1.発表者名 Fujita, M.; Maeda, H.
2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies of -Electronic Cations Based on Heteroporphyrins
3 . 学会等名 16th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP21)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 山角和久・前田大光
2 . 発表標題 電子系カチオン共有結合2量体のイオンペア形成
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 杉浦慎哉・前田大光
2 . 発表標題 ピロール架橋型キノン:互変異性とイオンペア集合体
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 電子系イオンペア集合体における非共有結合相互作用と物性
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光
2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒 電子系の集合化
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 石川壮・前田大光
2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 平石直也・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 ポルフィリン双性イオン:電子物性と規則配列
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 藤井良多・前田大光
2 . 発表標題 イオンペア集合体の構成ユニットとなる荷電ポルフィリンの周辺修飾
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 藤田雅輝・前田大光
2 . 発表標題 ヘテロポルフィリンを基盤とした 電子系カチオンのイオンペア集合化
3.学会等名
第18回ホスト- ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 木下智和・羽毛田洋平・前田大光・福原学
2 . 発表標題 アニオン認識超分子センサーの静水圧による動的制御
2
3 . 学会等名 第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 杉浦慎哉・前田大光
2 . 発表標題 互変異性による物性制御を可能とするピロール架橋キノンの合成
3 . 学会等名 第41回有機合成若手セミナー
4 . 発表年 2021年
1.発表者名
1. 光表有名 山角和久・前田大光
2 . 発表標題 電子系イオン共有結合2量体のイオンペア形成
3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会
4.発表年 2021年

移補情感・前田大光 2 . 飛表標題 ビロール架構型キノン:互変異性とイオンペア集合体 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 景表書名 田中宏创・羽毛田洋平・前田大光 2 . 飛表構題 電子系イオンペア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 景表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表標理 1,3-2ウトン骨格から誘導される含章 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 飛表年 2021年 1 . 発表者名 G. 光表年 2021年 1 . 発表者名 G. 光表音名	ジネー ジェール ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	
ビロール架機型キノン: 互変異性とイオンペア集合体 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表権 20:1年 1 . 発表権名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表機題 電子系イオンベア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 20:1年 1 . 発表権題 1,3-ジットン骨格から誘導される含章 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表権題 第3. 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 1 . 発表権名 第21日	とロール架橋型キノシ: 互変異性とイオンペア集合体 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表符 2021年 1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 電子系イオンペア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表機器 1 .3・ジクトン骨格から誘導される合業 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川社・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表書名 石川社・羽毛田洋平・前田大光 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表者 名 石川社・羽毛田洋平・前田大光	1 . 発表者名 杉浦慎哉・前田大光
### 第31回基礎有機化学討論会 4 . 飛表年 2021年 1 . 発表得題 電子系イオンペア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表存 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表標 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3 . 学会等名 ### 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表音名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名	第31回基礎有機化学討論会 1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 電子系イオンペア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太 - 前田大光 2 . 発表標題 1.3・ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成	
北京	1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 電子系イオンペア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表者名 安括子太一・前田大光 2 . 発表構題 1 . 3・ジクトン 骨格から誘導される会室 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 ての指導される会産 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表を 2 . 発表標題 集合化能を有する ノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表作	
田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 電子系イオンベア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される合室 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表者 石川社・羽毛田洋平・前田大光	田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 電子系イオンペア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表標題 1,3・ジクトン骨格から誘導される含章 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光	
電子系イオンベア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川社・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名	電子系イオンベア集合体の規則配列と物性 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表標題 1,3・ジケトン骨格から誘導される含窒 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光	
第31回基礎有機化学討論会 4.発表年 2021年 1.発表者名 安孫子太一・前田大光 2.発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3.学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4.発表年 2021年 1.発表者名 石川社・羽毛田洋平・前田大光 2.発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3.学会等名	#31回基礎有機化学討論会 4.発表年 2021年 1.発表者名 安孫子太一・前田大光 2.発表標題 1.3-ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3.学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4.発表年 2021年 1.発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2.発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3.学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4.発表年	
2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・前田大光 2 . 発表標題 1 . 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成	2021年 1. 発表者名 安孫子太一・前田大光 2. 発表標題 1.3-ジケトン骨格から誘導される含窒 電子系の集合化 3. 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3. 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4. 発表年	
安孫子太一・前田大光 2. 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3. 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 石川社・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3. 学会等名	2. 発表標題 1,3・ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3. 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3. 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4. 発表年	
1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川社・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名	1,3-ジケトン骨格から誘導される含室 電子系の集合化 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年	
第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名	第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年	
2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名	2021年 1 . 発表者名 石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年	
石川壮・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有する / ルコロールの合成 3 . 学会等名	石川社・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年	
集合化能を有するノルコロールの合成 3.学会等名	集合化能を有するノルコロールの合成 3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会 4 . 発表年	
	第31回基礎有機化学討論会 4.発表年	
第31四基礎有機化子的調会 		

1 . 発表者名 平石直也・羽毛田洋平・前田大光
2. 発表標題ポルフィリン双性イオン:電子物性と規則配列
3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 藤田雅輝・前田大光
2 . 発表標題 ヘテロポルフィリンを基盤とした 電子系カチオンのイオンペア集合化
3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 佐藤亮太・杉浦慎哉・羽毛田洋平・前田大光・小林洋一
2 . 発表標題 ジピロリルジケトンフッ化ホウ素錯体の励起状態ダイナミクス
3 . 学会等名 第31回基礎有機化学討論会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 前田大光
2 . 発表標題 高密度共役を指向した荷電 電子系の集積化
3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021(招待講演)
4 . 発表年 2021年

ビロール架橋型キノン: 豆変異性とイオンベア集合体 第1回にSJK学フェスタ2021 4. 発表者 2021年 1. 発表者名 宮本輝介・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 アニオン性ユニットを導入したアニオン応答性 電子系の自己会合 3. 学会等名 第1回にSJK学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 1.3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3. 学会等名 第11回にSJK学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 5. 発表標題 1. 発表者名 3. 学会等名 第11回にSJK学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 5. 発表を容 3. 学会等名 第11回にSJK学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 5. 発表者名 5. 発表機器
ビロール架橋型キノン: 豆変農性とイオンベア集合体 第1回にSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 宮本輝介・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 アニオン性ユニットを導入したアニオン応答性 電子系の自己会合 3. 学会等名 第1回にSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表構題 1.3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3. 学会等名 第11回にSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 5. 発表構題 1. 発表者名 5. 発表構題 1. 発表者名 5. 発表表標題
第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 宮本耀介・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 アニオン性ユニットを導入したアニオンの答性 電子系の自己会合 3. 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 第11回CSJ化学フェスタ2021 2. 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素溶曲 電子系 3. 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素溶曲 電子系 3. 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 石川壮・前田大光
第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 宮本耀介・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 アニオン性ユニットを導入したアニオンの答性 電子系の自己会合 3. 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 第11回CSJ化学フェスタ2021 2. 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素溶曲 電子系 3. 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素溶曲 電子系 3. 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 石川壮・前田大光
1 . 発表者名 宮本曜介・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 アニオン性ユニットを導入したアニオン応答性 電子系の自己会合 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1.3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表存 2 . 発表標題 1 . 発表者名
 宮本耀介・羽毛田洋平・前田大光 2.発表標題 アニオン性ユニットを導入したアニオン応答性 電子系の自己会合 3.学会等名 第11回にSJ化学フェスタ2021 4.発表年 2021年 1.発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2.発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3.学会等名 第11回にSJ化学フェスタ2021 4.発表年 2021年 1.発表者名 石川壮・前田大光 2.発表標題 2.発表標題
アニオン性ユニットを導入したアニオン応答性 電子系の自己会合 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1 .3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川社・前田大光
アニオン性ユニットを導入したアニオン応答性 電子系の自己会合 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1 .3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川社・前田大光
第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光
第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光
2021年 1 . 発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光 2 . 発表標題
安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光
1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光
1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒素湾曲 電子系 3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光 2 . 発表標題
第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光
第11回CSJ化学フェスタ2021 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光
2021年 1 . 発表者名 石川壮・前田大光 2 . 発表標題
石川壮・前田大光 2 . 発表標題
3.学会等名
第11回CSJ化学フェスタ2021
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 高木優・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題
電子ドナーユニットを導入したポルフィリンAulll錯体の合成
3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 中島諒也・前田大光
2 . 発表標題 拡張型ポルフィリンカチオンの合成
3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 平石直也・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 ポルフィリン双性イオン:電子物性と規則配列
3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 藤井良多・前田大光
2 . 発表標題 イオンペア集合体の構成ユニットとなる荷電ポルフィリンの周辺修飾
3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 藤田雅輝・前田大光
2 . 発表標題
ヘテロポルフィリンを基盤とした 電子系カチオンのイオンペア集合化
3 . 学会等名 第11回CSJ化学フェスタ2021
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 荷電 電子系の規則配列と物性
3 . 学会等名 基礎有機化学会若手オンラインシンポジウム(第1回)
4.発表年 2021年
1.発表者名 安孫子太一・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 含窒素非平面型 電子系の自己組織化
3 . 学会等名 基礎有機化学会若手オンラインシンポジウム(第1回)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Maeda, H.
2. 発表標題 Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules: Assembly, Dynamic Behavior, Sensing, and Catalysis
3 . 学会等名 Pacifichem 2021 (招待講演) (国際学会)
4.発表年 2021年

1.発表者名
T.光极自有 Maeda, H.
2 . 発表標題
Ion-Pairing Materials of Charged -Electronic Systems
3.学会等名
Pacifichem 2021(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年
1 . 発表者名
Sugiura, S.; Maeda, H.
2.発表標題
Pyrrole-Bridged Quinones: -Electronic Systems That Modulate Electronic Structures by Tautomerism and Deprotonation
3.学会等名
3 . 子云寺石 Pacifichem 2021(国際学会)
Factificitie 2021(国际子云)
4.発表年
2021年
1.発表者名
Tanaka, H.; Maeda, H.
2.発表標題
Ion-Pairing Assemblies Based on Charged Porphyrins
Total Tarking Account the Sacration of t
3.学会等名
Pacifichem 2021(国際学会)
A - 卒主生
4.発表年 2021年
4V41T
1.発表者名
杉浦慎哉・前田大光
2.発表標題
ピロール架橋型キノンの合成と開殻系への展開
3.学会等名
日本化学会第102春季年会
4.発表年
2022年

1 . 発表者名 田中宏樹・前田大光
2 . 発表標題 活性化された荷電 電子系のイオンペア集合化
2
3.学会等名 日本化学会第102春季年会
4. 発表年
2022年
1 . 発表者名 津田栞里・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題
2. 究表標題 アニオン応答性部位を有する直交型 電子系の合成
AV A debruse
3 . 学会等名 日本化学会第102春季年会
4.発表年
2022年
1 . 発表者名 西村忠紘・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 ヒュスゲン環化付加によるアニオン応答性 電子系の合成とイオンペア集合化
3 . 学会等名 日本化学会第102春季年会
4 . 発表年
2022年
1 . 発表者名 前田大光・岡田歩偉・羽毛田洋平
2 . 発表標題 側鎖に硫黄ユニットを導入したアニオン応答性 電子系の合成
3. 学会等名
3 . 子云寺名 日本化学会第102春季年会
4 . 発表年 2022年

1.発表者名
前田大光・釘崎梨央・羽毛田洋平
2 . 発表標題
2. 元代伝統 非平面構造を誘起するアニオン応答性 電子系の合成とイオンペア集合化
4. 中国特定での起するアニタンル合任 电子水の自成にイタン・ソ 未自化
3.学会等名
日本化学会第102春季年会
4.発表年
2022年
No. 10 to 10
1. 発表者名
前田大光・橋本遥加・羽毛田洋平
2. 発表標題
・元ペ()示성 金属錯化によるらせん状荷電 電子系の合成
3.学会等名
日本化学会第102春季年会
4.発表年
2022年
1. 発表者名
前田大光・橋本祐也・田中宏樹・羽毛田洋平
2 . 発表標題
立体障害を軽減した荷電ポルフィリンの合成
立体は日で社がらに同じがルンインンの自然
3.学会等名
日本化学会第102春季年会
4.発表年
2022年
1. 発表者名
前田大光・丸山優斗・田中宏樹・羽毛田洋平
2.発表標題
西親媒性ポルフィリンAuIII錯体を基盤としたイオンペア集合体の創製
1999/80112-0-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-
3 . 学会等名
日本化学会第102春季年会
4.発表年
2022年

1 . 発表者名 前田大光・村上優・羽毛田洋平
0 7V+1=FF
2 . 発表標題 電子系を拡張したアニオン応答性ジピロリルジケトンPtII錯体の合成
3 . 学会等名 日本化学会第102春季年会
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 前田大光・森未来・杉浦慎哉
2 . 発表標題 ピロール架橋キノンの 拡張
3 . 学会等名 日本化学会第102春季年会
4.発表年 2022年
1 . 発表者名 前田大光・横山未結・羽毛田洋平
2.発表標題 分子内相互作用により安定化した 電子系アニオンの周辺修飾
3 . 学会等名 日本化学会第102春季年会
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 杉浦慎哉・前田大光
2 . 発表標題 Synthesis and Fluorescence Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules (芳香環多置換ピロールを基盤としたアニオン応答性 電子系の合成と発光特性)
3 . 学会等名 2020年web光化学討論会
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 伊藤冬樹・奥田雄太・勝見志穂・羽毛田洋平・前田大光
N NATED OF THE STOCKE STOCKET IN THE STEEL
2 . 発表標題 ハイパースペクトルイメージングを利用したジピロリルジケトンフッ化ホウ素錯体の結晶 - 結晶相転移過程の蛍光観測
ハイバース・ソールイグークングを利用したクロログルクテークフラルがク系輯体の結晶・結晶相似を過程の虫儿観測
3.学会等名
2020年web光化学討論会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 前田大光
2 . 発表標題 イオンペアリングによる 電子系集合体の創製:多様性と相互作用
「カン・ソップノによる。も」が来ら体の心表・シがはこれ立下の
3 . 学会等名 第69回高分子討論会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 久野温子・前田大光
2.発表標題 イオンペアを形成するアニオン応答性PtII錯体の合成と物性
3 . 学会等名 錯体化学会第70回討論会
4.発表年 2020年
1.発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 ポルフィリンイオンペア:非共有結合性相互作用を基盤とした配列制御
3 . 学会等名 錯体化学会第70回討論会
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 久野温子・前田大光	
2.発表標題 イオンペアを形成するアニオン応答性PtII錯体の合成と物性	
NA PER	
3 . 学会等名 第10回CSJ化学フェスタ2020	
4.発表年	
2020年	
1.発表者名	
杉浦慎哉・前田大光	
2.発表標題	
2. 光な信題 アニオン応答性 電子系による分子論理ゲートへの展開	
a NEA OF TO	
3 . 学会等名 第10回CSJ化学フェスタ2020	
4. 発表年	
2020年	
1 . 発表者名 田中宏樹・前田大光	
2 . 発表標題 電子系イオンペア集合体:対アニオンによるポルフィリンAuPtIII錯体の配列制御	
3 . 学会等名 第10回CSJ化学フェスタ2020	
4 . 発表年 2020年	
1 X=20	
1 . 発表者名 小池亜依・前田大光	
2 . 発表標題 金属配位ユニットを組み込んだ環状アニオン応答性 電子系の合成	
3 . 学会等名	
第10回CSJ化学フェスタ2020	
4.発表年	=
2020年	

1 . 発表者名 麓信比呂・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 イオンメタセシスによる分子内水素結合型 電子系アニオンを基盤としたイオンペア集合化
3.学会等名
第10回CSJ化学フェスタ2020
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
村田知己・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
アニオンユニットを導入したアニオン応答性 電子系の合成
2.
3 . 学会等名 第10回CSJ化学フェスタ2020
4.発表年
2020年
1 . 発表者名 小松海風・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
電子系配位子を修飾したアニオン応答性ジピロリルジケトンPt II 錯体の合成
3.学会等名
第10回CSJ化学フェスタ2020
4 . 発表年
2020年
1 . 発表者名 西村忠紘・羽毛田洋平・前田大光
口13心MA · 33で叫汗干 · BJ叫八儿
った 文本 4本 15
2 . 発表標題 イオンペア集合体を形成するアニオン応答性 電子系への分極した芳香環の導入
3 . 学会等名 第10回CSJ化学フェスタ2020
4.発表年
2020年

1 . 発表者名 羽毛田洋平・宮末実佳・小林洋一・前田大光
2 . 発表標題 自己会合能を有する非平面型 電子系の集合化
3 . 学会等名 基礎有機化学会若手オンラインシンポジウム (第0回) 4 . 発表年
2020年
1.発表者名 羽毛田洋平
2.発表標題 電子系イオンペアの合成と次元制御型集合体の創製
3 . 学会等名 名古屋大学学生シンポジウム(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 羽毛田洋平・宮末実佳・小林洋一・前田大光
2 . 発表標題 自己会合能を有する電子豊富な非平面型 電子系の規則配列化
3 . 学会等名 MRMフォーラム2020
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 杉浦慎哉・前田大光
2 . 発表標題 アニオン応答性 電子系による分子論理ゲートへの展開
3 . 学会等名 MRMフォーラム2020
4 . 発表年 2020年

1.発表者名
「・元祝日日 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2.光衣信題 ポルフィリンイオン:非共有結合性相互作用を基盤とした配列制御
3.学会等名 MRMフォーラム2020
4.発表年
2020年
4
1.発表者名 麓信比呂・前田大光
魔信儿台·削山入儿
2 . 発表標題 分子内水素結合型 電子系アニオンを基盤としたイオンペア集合化
分士内小系結合型 電士系アニオフを基盤としにイオフヘア集合化
- W.A. blocker
3.学会等名
MRMフォーラム2020
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
2020年
1. 発表者名
羽毛田洋平・宮末実佳・小林洋一・前田大光
2.発表標題
非平面型 電子系の秩序的自己集合化
3 . 学会等名
日本化学会第101春季年会
2021年
1. 発表者名
久野温子・前田大光
2 . 発表標題
イオンペア集合体を形成するアニオン応答性PtII錯体の合成と物性
3 . 学会等名
日本化学会第101春季年会
4. 允衣牛 2021年

1.発表者名
杉浦慎哉・前田大光
2.発表標題
ピロール架橋型キノンの合成と物性
3 . 学会等名
日本化学会第101春季年会
4.発表年
2021年
1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
山中公園。初七山汗土。前山八九
2.発表標題
2 : 光校保超 電子系イオンペア:非共有結合性相互作用を基盤とした秩序構造
3 . 学会等名
日本化学会第101春季年会
4.発表年
2021年
1.発表者名
麓信比呂・前田大光
2.発表標題
2 . 光衣信題 脱プロトン化によって形成された 電子系アニオンを基盤とした 電子系イオンペア集合化
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
3.学会等名
日本化学会第101春季年会
4 改丰仁
4 . 発表年 2021年
· I
1 . 発表者名
前田大光・安孫子太一・羽毛田洋平
2 . 発表標題 1,3-ジケトン骨格から誘導される含窒 電子系の合成
「、、・ファドノ目作がり跡等C11の占金 电丁尔VIDIX
3.学会等名
3 . 子云寺石 日本化学会第101春季年会
4.発表年 2021年
2021年

1.発表者名
前田大光・石川壮・羽毛田洋平
2.発表標題
2 : 元代標題 集合化能を有するノルコロールの合成
3.学会等名 日本化学会第101春季年会
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 前田大光・平石直也・羽毛田洋平
前山八九。千百直已,35七山 <u></u> 十十
2 . 発表標題
ポルフィリン双性イオンの合成
日本化学会第101春季年会
2021年
1.発表者名
前田大光・藤井良多・羽毛田洋平
2.発表標題
~ .光衣信題 アニオン化可能なポルフィリンへの芳香環修飾
3.学会等名 日本化学会第101春季年会
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 前田大光・藤田雅輝・羽毛田洋平
13 HI / V は 原本日3 E PH / T
2.発表標題
へテロポルフィリンを基盤とした 電子系カチオンの合成
日本化学会第101春季年会
│
2021年

1 . 発表者名 木下智和・羽毛田洋平・前田大光・福原学
2 . 発表標題 静水圧によるアニオン認識蛍光フォルダマーの動的制御
3.学会等名 日本化学会第101春季年会
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光
2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンの合成とイオンペア集合体の創製
3 . 学会等名 第17回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 久野温子・平田剛輝・小林洋一・前田大光
2 . 発表標題 新たなアニオン応答性 電子系であるジピロリルジケトンPtII錯体の合成
3 . 学会等名 第17回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 杉浦慎哉・前田大光
2.発表標題 拡張ピロール環を有するアニオン応答性 電子系の合成とイオンペア集合化
3 . 学会等名 第17回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 小池亜依・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 金属錯化を利用した環状アニオン応答性 電子系の合成
3 . 学会等名 第17回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 麓信比呂・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 分子内水素結合によって安定化された 電子系アニオンからなるイオンペア集合体
3 . 学会等名 第17回ホスト・ゲスト超分子化学シンボジウム
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Maeda,H.
2 . 発表標題 Charged Porphyrin Metal Complexes as Building Units of Ion-Pairing Assemblies and Materials
3.学会等名 235th meeting of the Electrochemical Society (ECS)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Kuno, A.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies of Anion-Responsive -Electronic Molecules Exhibiting Dynamic Binding Behaviors
3 . 学会等名 14th International Symposium on Functional -Electron Systems (F 14)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.
2. 発表標題 Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units
3 . 学会等名 14th International Symposium on Functional -Electron Systems (F 14)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin-AullI Complexes with Electron-Withdrawing Substituents
3 . 学会等名 14th International Symposium on Functional -Electron Systems (F 14)
4.発表年 2019年
1.発表者名 Maeda, H.
Maeda, H. 2 . 発表標題
Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名
Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 China-Japan-Singapore Joint Symposium on Supramolecular Systems and Optoelectronic Functions (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Maeda, H.
Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 China-Japan-Singapore Joint Symposium on Supramolecular Systems and Optoelectronic Functions (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Anion-Responsive -Electronic Systems That Exhibit Diverse Conformations and Stoichiometries in Anion Binding
Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 China-Japan-Singapore Joint Symposium on Supramolecular Systems and Optoelectronic Functions (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Naganawa, A.; Maeda, H.

1. 异表者名 Urnikawa, K.; Waeda, H. 2. 异表梗题 Synthesis of Pyridinium-Substituted Dipyrrolylpyrinidines as Anion-ResponsiveElectronic Systems 3. 字合等名	
3 . 字会奇名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 聚表有名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2 . 聚表標題 Synthesis of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3 . 字会奇名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 聚表年 Sugiura, S.; Maeda, H. 2 . 聚表模题 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3 . 字会奇名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 聚表模题 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3 . 字会奇名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 聚表存 2019年 1 . 聚表有名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 聚表模题 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3 . 字会奇名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 聚表存名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H.	
1. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 2. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 聚表年 2019年 1. 采表表名 Sugiura, S.; Maeda, H. 2. 采表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 聚表库 2019年 1. 聚表存名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 聚表模器 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 聚表存名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H.	
1. 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis of DipyrrolyIdiketone Ptill Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Waeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年	15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19)(国際学会)
Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SMCPP19) (国際学会) 4. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SMCPP19) (国際学会) 4. 発表在 2019年 1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SMCPP19) (国際学会) 4. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies	
Synthesis of DipyrrolyIdiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表を	
1. 発表者名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表有 2019年 1. 発表者名 Suglura, S.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表有 2019年 1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表存	
1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年	
Sugiura, S.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年	
Sugiura, S.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年	· Water
Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表年	Sugiura, S.; Maeda, H.
15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年	Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules
1. 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年	
Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表年	
Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19)(国際学会) 4 . 発表年	
15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19)(国際学会) 4 . 発表年	Porphyrin-Based Ion-Pairing Assemblies

1. 発表者名 Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2.発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement
3.学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Koike, A.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2. 発表標題 Synthesis of Cyclic Anion-Responsive -Electronic Molecules by Metal Coordination
3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19)(国際学会)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Fumoto, N.; Haketa, Y.; Maeda, H.
Fumoto, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising -Electronic Anions Stabilized by Intramolecular Hydrogen Bonding 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会)
Fumoto, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising -Electronic Anions Stabilized by Intramolecular Hydrogen Bonding 3 . 学会等名
Fumoto, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising -Electronic Anions Stabilized by Intramolecular Hydrogen Bonding 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表年
Fumoto, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising -Electronic Anions Stabilized by Intramolecular Hydrogen Bonding 3 . 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Fumoto, N.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Comprising -Electronic Anions Stabilized by Intramolecular Hydrogen Bonding 3. 学会等名 15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Murata, T.; Haketa, Y.; Maeda, H.

1. 発表者名
Nishimura, T.; Haketa, Y.; Maeda, H.
o 7X-1455
2.発表標題
Synthesis of Anion-Responsive -Electronic Systems by Huisgen Cycloaddition
0. WAME
3.学会等名
15th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (SNCPP19)(国際学会)
· TX-tr
4. 発表年
2019年
1. 発表者名
Kuno, A.; Maeda, H.
2 . 発表標題
Ion-Pairing Assemblies of Anion-Responsive -Electronic Molecules Exhibiting Dynamic Binding Behaviors
3 . 学会等名
The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Sugiura, S.; Maeda, H.
2.発表標題
2 . 発表標題 Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会)
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会) 4 . 発表年
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会)
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会) 4 . 発表年 2019年
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会) 4 . 発表年 2019年
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H.
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H.
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H.
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H.
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H.
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin-AullI Complexes with Electron-Withdrawing Substituents
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin-Aulli Complexes with Electron-Withdrawing Substituents 3 . 学会等名
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin-AullI Complexes with Electron-Withdrawing Substituents
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin-Aulli Complexes with Electron-Withdrawing Substituents 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会)
Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units 3 . 学会等名 The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Tanaka, H.: Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin-Aulli Complexes with Electron-Withdrawing Substituents 3 . 学会等名

1.発表者名
Maeda, H.
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
天津大学講演会(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2019年
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1 英字本々
1. 発表者名
Maeda, H.
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
3. 学会等名
1st International Conference on Noncovalent Interactions (ICNI)(招待講演)(国際学会)
19.C International contendice on noncovarient Interactions (1001)(1017時次)(国际子云)
· TV-F
4.発表年
2019年
1.発表者名
Maeda, H.
2.発表標題
2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3.学会等名
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会)
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会)
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製 3 . 学会等名
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製 3 . 学会等名 第30回基礎有機化学討論会
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製 3 . 学会等名 第30回基礎有機化学討論会 4 . 発表年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製 3 . 学会等名 第30回基礎有機化学討論会
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製 3 . 学会等名 第30回基礎有機化学討論会 4 . 発表年
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 9th East Asia Symposium on Functional Dyes and Advanced Materials (EAS9) (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 羽毛田洋平・田中宏樹・笹野力史・前田大光 2 . 発表標題 ポルフィリン骨格を基盤とした 電子系イオンからなるイオンペア集合体の創製 3 . 学会等名 第30回基礎有機化学討論会 4 . 発表年

1.発表者名
・ 元表有名 - 久野温子・平田剛輝・小林洋一・前田大光
C THICIPH I C THICLY CO
ᇰᇰᆇᄪᄧ
2.発表標題 新たなアニオン応答性 電子系であるジピロリルジケトンPtII錯体の合成
3.学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4.発表年
2019年
1. 発表者名
池内翔太・羽毛田洋平・中村一登・前田大光
2 . 発表標題
ピロリルヨードニウムカチオン:非常に電子不足なピロールを基盤とした 電子系
3.学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4. 発表年
2019年
1.発表者名
杉浦慎哉・前田大光
2.発表標題
- 2 - 元代信題 - 芳香環多置換ピロールを基盤としたアニオン応答性 電子系の合成と発光特性
カロペンは、大きを重していて、一ついからは、もうがなられていた。
3.学会等名 第30回基礎有機化学討論会
为♥凹至碇˙┮1戏≒→計画云
4.発表年
2019年
1.発表者名
田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
ポルフィリンAulll錯体を基盤としたイオンペア集合体の創製
3 . 学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4.発表年 2019年
2013 "

1.発表者名
西山賢大・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 自己会合能を有するアニオン応答性 電子系の合成と集合化
ロログロ形でです。シケーツンがロロに、宅1水ツロは(木口)
3.学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4.発表年
2019年
1.発表者名
宮末実佳・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 規則配列構造を形成する非平面構造を有するヘテロ環架橋ジピロリル 電子系
3 . 学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4.発表年
2019年
1.発表者名
小池亜依・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 金属錯化を利用した環状アニオン応答性 電子系の合成
3 . 学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4.発表年
2019年
1.発表者名
麓信比呂・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 分子内水素結合によって安定化された 電子系アニオンからなるイオンペア集合体
いっしょう 水は 一つ こう 八人 一つ こう こう こう こう こう ストロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3 . 学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4.発表年
2019年

1. 発表者名
村田知己・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題
アニオン応答性 電子系へのアニオンユニットの導入によるイオンペア集合化
3 . 学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4. 発表年
2019年
1.発表者名
T : 光衣省名 西村忠紘・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
ヒュスゲン環化付加によるアニオン応答性 電子系の誘導化
3 . 学会等名
第30回基礎有機化学討論会
4.発表年
2019年
1.発表者名
前田大光
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
고 강丰+프B5
2 . 発表標題 イオンペアリング 電子系集合体の化学
コカンドアソファ 电丁が未口呼の心子
3 . 学会等名
関東高分子若手研究会2019ミニシンポジウム(招待講演)
4.発表年
4. 完衣牛 2019年
1.発表者名
久野温子・平田剛輝・小林洋一・前田大光
2.発表標題
・ 元代宗題 新たなアニオン応答性 電子系であるジピロリルジケトンPtII錯体の合成
mile. Is to the Country of the Count
3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019
毎9回いり10子ノエ人ツ2019
4.発表年
2019年

1.発表者名 杉浦慎哉・前田大光	
2.発表標題 芳香環多置換ピロールを基盤としたアニオン応答性 電子系の合成と発光特性	
3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019	
4 . 発表年	
2019年	
1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光	
2.発表標題	
ポルフィリンイオンペアの創製と集合化	
3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019	
4.発表年	
2019年	
1 . 発表者名 池内翔太・羽毛田洋平・中村一登・前田大光	
2 . 発表標題	
2 . 光表係版 ピロリルヨードニウムカチオン: 非常に電子不足なピロールを基盤とした 電子系	
3.学会等名	
第9回CSJ化学フェスタ2019	
4.発表年	
2019年	
1 . 発表者名 西山賢大・羽毛田洋平・前田大光	
2 . 発表標題	
自己会合能を有するアニオン応答性 電子系の合成と集合化	
3.学会等名	
第9回CSJ化学フェスタ2019	
4 . 発表年	
2019年	

1 . 発表者名 宮末実佳・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 規則配列構造を形成する非平面構造を有するヘテロ環架橋ジピロリル 電子系
3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 小池亜依・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 金属錯化を利用した環状アニオン応答性 電子系の合成
3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 麓信比呂・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 分子内水素結合によって安定化された 電子系アニオンからなるイオンペア集合体
3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 村田知己・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 アニオンユニットを導入したアニオン応答性 電子系の合成とその集合化
3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 西村忠族・羽毛田洋平・前田大光 2. 発表標題 ヒュスケン環化付加によるアニオン応答性 電子系の誘導化 3. 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019 4. 発表程 2019年 1. 発表者名 Maeda, H.; Yanakado, R. 2. 飛表標題 Photoswitching Waterial's Comprising Designed Ionic Species 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表在 2019年 1. 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表構題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone Ptil Complexes as New Anion-Responsive - Electronic Systems 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表者名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	西村忠紘・羽毛田洋平・前田大光 2 . 発表標題 ヒュスゲン環化付加によるアニオン応答性 電子系の誘導化 3 . 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019 4 . 発表年 2019年
E ユスゲン環化付加によるアニオン応答性 電子系の誘導化 3 . 学会等名 第9回にSU化学フェスタ2019 4 . 発表者名 Meeda, H.; Yamakado, R. 2 . 発表標題 Photoswitching Materials Comprising Designed Ionic Species 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of DipyrrolyIdiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive - Electronic Systems 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表標題 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表者名 Synthesis and Photophysical Properties of DipyrrolyIdiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive - Electronic Systems 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表者名 Synthesis Responsible - Electronic Systems 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会)	ヒュスゲン環化付加によるアニオン応答性 電子系の誘導化 3. 学会等名 第9回CSJ化学フェスタ2019 4. 発表年 2019年 1. 発表者名
第9回CSJ化学フェスタ2019 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H.; Yamakado, R. 2 . 発表標題 Photoswitching Materials Comprising Designed Ionic Species 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 1 . 発表者名 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 1 . 発表者名 Synthesis A. 発表程 Synthesis A. Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表者名 Synthesis A. Synt	第9回CSJ化学フェスタ2019 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名
1. 発表者名 Maeda, H.; Yamakado, R. 2. 発表標題 Photoswitching Materials Comprising Designed Ionic Species 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	2019年 1 . 発表者名
Maeda, H.; Yamakado, R. 2. 発表標題 Photoswitching Materials Comprising Designed Ionic Species 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表性 2019年 1. 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表性 2019年 1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
Photoswitching Materials Comprising Designed Ionic Species 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
1. 発表者名 Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3. 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
Synthesis and Photophysical Properties of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems 3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
2019年 1 . 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H. 2 . 発表標題	
Sugiura, S.; Maeda, H. 2 . 発表標題	
	Sugiura, S.; Maeda, H.
	Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules
3.学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics(国際学会)	Final International Symposium on Photosynergetics(国際学会)
4 . 発表年 2019年	

Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin-AullI Complexes
a. W.A.M.
3 . 学会等名 Final International Symposium on Photosynergetics (国際学会)
4 . 発表年 2019年
4
1.発表者名 Maeda, H.
2.発表標題
Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
3 . 学会等名
-System Figuration European-Japanese Workshop 2019 (-EJ2019)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1 . 発表者名
牧千夏・石橋広記・笹野力史・羽毛田洋平・前田大光・杉本邦久・久保田佳基
2.発表標題
イオンペア集合体の電子密度解析
3.学会等名
日本結晶学会 令和元年(2019年)度年会
4.発表年
2019年
1.発表者名
Kuno, A.; Hirata, G.; Kobayashi, Y.; Maeda, H.
2 及主 4 而 旧 5
2 . 発表標題 Synthesis of Dipyrrolyldiketone PtII Complexes as New Anion-Responsive -Electronic Systems
3.学会等名 CEMS Interpotional Symposium on Supremalocular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupre2010) (国際学会)
CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
2010

1.発表者名
Sugiura, S.; Maeda, H.
engining or, wherea,
2.発表標題
Synthesis and Emissive Properties of Multiply Aryl-Substituted Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules
,
3.学会等名
CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019)(国際学会)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
4.発表年
2019年
1.発表者名
Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2.発表標題
Ion-Pairing Assemblies Based on Charged Porphyrins
3.学会等名
CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019)(国際学会)
CEMS INTERNATIONAL Symposium on Supramorecutal Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSuprazors) (国际子云)
4.発表年
2019年
·
1
1 . 発表者名
1.発表者名 Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019)(国際学会)
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019)(国際学会)
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H.
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3. 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Maeda, H. 2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3. 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Maeda, H. 2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3. 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Maeda, H. 2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3. 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Maeda, H. 2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 IISER講演会(招待講演)(国際学会)
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2. 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3. 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Maeda, H. 2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3. 学会等名 IISER講演会(招待講演)(国際学会) 4. 発表年
Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Nonplanar Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules Exhibiting Ordered Arrangement 3 . 学会等名 CEMS International Symposium on Supramolecular Chemistry and Functional Materials 2019 (CEMSupra2019) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Maeda, H. 2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies and Materials of Charged -Electronic Systems 3 . 学会等名 IISER講演会(招待講演)(国際学会)

1.発表者名 Maeda, H.
2 . 発表標題 Ion-pairing materials of charged -electronic systems
3 . 学会等名 International Conference on Liquid Crystals, Liquid Crystalline Polymers and Nanosystems (ICLCPN 2019)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Maeda, H.
2 . 発表標題 Ion-Pairing Materials of Charged -Electronic Systems
3 . 学会等名 The 2nd International Conference of Polymeric and Organic Materials in Yamagata University (IPOMY)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名前田大光
2.発表標題 イオンペアリング 電子系集合体の化学
3. 学会等名 富士フイルム講演会(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Maeda, H.
2. 発表標題 Ion-Pairing Assemblies of Charged -Electronic Systems
3. 学会等名 Commemorative symposium in Kyoto on the retirement of Prof. Atsuhiro Osuka(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 特異な電子状態を有する 電子系イオンペア
3 . 学会等名 日本化学会第100春季年会
4 . 発表年
2020年
1 . 発表者名 浦川一樹・前田大光
3 7V±145875
2 . 発表標題 二面角を制御したカチオン性 電子系ユニットのアニオン応答性 電子系への導入
3.学会等名
3.字云寺名 日本化学会第100春季年会
4.発表年
2020年
1 . 発表者名 久野温子・平田剛輝・小林洋一・前田大光
2.発表標題 新たなアニオン応答性 電子系であるジピロリルジケトンPtII錯体の合成
3. WAME
3.学会等名 日本化学会第100春季年会
4.発表年
2020年
1 . 発表者名 池内翔太・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 ピロリルヨードニウムカチオン:非常に電子不足なピロールを基盤とした 電子系
2
3.学会等名 日本化学会第100春季年会
4 . 発表年
2020年

1 . 発表 杉浦竹	長者名 真哉・前田大光
2 . 発表 ピロ・	長標題 −ルを基盤とした拡張 電子系イオンの合成
2 34	
3 . 学会 日本(会等名 化学会第100春季年会
4 . 発表	 長年
20201	‡
1 . 発表 杉浦竹	長者名 真哉・前田大光
2 . 発表	桂梅 暗
	ス(京超 環多置換ピロールを基盤としたアニオン応答性 電子系の合成と発光特性
3 . 学纪	<u>◇</u> 等名
	化学会第100春季年会
4 . 発表	
2020	
4 75=	E 24 7
1 . 発表 田中を	を有名 宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表	= 100 8 7
	マ信題 フィリンイオンからなるイオンペア集合体の創製
3 . 学会	<u>◇</u> 等夕
日本化	化学会第100春季年会
4 . 発表	
20203	
1 75=	F 24 7
1 . 発表 西山	を有名 賢大・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表	= 1·16·10日
	^{文伝超} 会合能を有するアニオン応答性 電子系の合成と集合化
3 . 学纪	· ◇等名
日本化	化学会第100春季年会
4.発表 2020 ²	

1 . 発表者名 宮末実佳・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 規則配列構造を形成する非平面構造を有するジピロリル 電子系
3 . 学会等名 日本化学会第100春季年会
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 小池亜依・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 金属配位ユニットを組み込んだ環状アニオン応答性 電子系の合成
3 . 学会等名 日本化学会第100春季年会
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 麓信比呂・羽毛田洋平・前田大光
2. 発表標題 分子内水素結合によって安定化された 電子系アニオンからなるイオンペア集合体
3.学会等名 日本化学会第100春季年会
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 村田知己・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 アニオン応答性 電子系へのアニオンユニットの導入によるイオンペア集合化
3 . 学会等名 日本化学会第100春季年会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名
西村忠紘・羽毛田洋平・前田大光
○ 7V±±45875
2.発表標題
ヒュスゲン環化付加によるアニオン応答性 電子系の合成とイオンペア集合化
3.学会等名
コ・チェッセ 日本化学会第100春季年会
口本化学会第100春学年会
2020年
A TOTAL OF
1. 発表者名
前田大光・小松海風・羽毛田洋平
2、改丰価昭
2.発表標題
電子系配位子を修飾したジピロリルジケトンPtII錯体の合成
2 244
3.学会等名
日本化学会第100春季年会
4 TV=/T
4 . 発表年
2020年
. Webs
1. 発表者名
木下智和・羽毛田洋平・前田大光・福原学
2.発表標題
静水圧による蛍光フォルダマーの動的制御ならびにアニオンセンシング
3.学会等名
日本化学会第100春季年会
╽╇╟ ┱╗┉┱╃╀┱
4.発表年
2020年
EVEV
1.発表者名
・・光衣自石 値賀雄樹・田中宏樹・羽毛田洋平・坂本雅典・前田大光・寺西利治
但具雄倒:山中么倒:47七四汗十:以个难央:19日人兀·寸凹利河
2.発表標題
金属クラスター超構造形成に向けた金(III)ポルフィリン配位子の合成
3. 学会等名
日本化学会第100春季年会
4 . 発表年
2020年

1.発表者名
前田大光
2.発表標題
イオンペアリング 電子系集合体の化学
3.学会等名
第28回万有福岡シンポジウム(招待講演)
4.発表年
2018年
1.発表者名
Maeda, H.
waeua, II.
2.発表標題
Ion-Pairing Assemblies and Materials Comprising Charged Porphyrins
Ton Farring Modelmotted and materials dempireting undriged religions
3.学会等名
233rd meeting of the Electrochemical Society(ECS)(招待講演)(国際学会)
2551d meeting of the Electronic mean occitive (Edo.) (国际等点)
4 . 発表年
2018年
4010T
1.発表者名
Maeda, H.; Yamakado, R.
2.発表標題
Photoswitching Materials Comprising Designed Ionic Species
Photoswitching waterials comprising besigned forme species
3.学会等名
2nd International Symposium on Photosynergetics(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1 改事 业 な
1. 発表者名
羽毛田洋平・前田大光
2 7V ± 4研R
2 . 発表標題
電子系イオンペアを基盤とした次元制御型集合体の創製
3 . 学会等名
第16回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4. 発表年
2018年

1.発表者名
平田剛輝・前田大光
2.発表標題
ピロールを基盤としたアニオン応答性 電子系分子の水素結合供与型触媒への展開
3.学会等名
3 . 子云寺石 第16回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
久野温子・前田大光
2.発表標題
多様な会合挙動を示すアニオン応答性 電子系の創製
3 . 学会等名 第16回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
第10回小スト-クスト・超ガナ化子シンホシウム
4.発表年
2018年
1.発表者名
渡邉悠太・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
次元制御型集合体を指向した芳香族エチニル置換アニオン応答性 電子系の合成
3.学会等名
第16回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年
2018年
1.発表者名 杉浦慎哉・前田大光
12/用I具成 · 时山八儿
2.発表標題
2. 光表伝送 拡張したピロール環を有するアニオン応答性 電子系分子の合成と集合化
AND THE RESIDENCE OF THE BLANCE OF THE BLANC
3.学会等名
第16回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
A - 改丰左
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
ポルフィリン金錯体を基盤としたイオンペア集合体の創製
3.学会等名
第16回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
西山賢大・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 ピロールからなるアニオン応答性 電子系多量体の合成
これ、カルンのグノーコンルロは、も)小ン手作が口以
2
3 . 学会等名 第16回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 羽毛田洋平・前田大光
2. 艾生 插 陌
2 . 発表標題 電子系イオンペアを基盤とした次元制御型集合体の創製
3.学会等名
第39回光化学若手の会
4 . 発表年
2018年
1.発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
2.発表標題
Ion-Pairing Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ions
3.学会等名
14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4.発表年 2018年
2018年

1 . 発表者名 Hirata, G.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules as Hydrogen-Bonding Organocatalysts
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Sasano, Y.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin Anions
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Nakamura, K.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Assembled Behavior and Functionalization of Polarity-Switchable -Systems
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4.発表年 2018年
1.発表者名 Kuno, A.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Synthesis of Anion-Responsive -Electronic Molecules Exhibiting Various Binding Behaviors
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 Koda, N.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Anion-Responsive -Electronic Systems with Orthogonally Introduced -Moiety Providing Dimension-Controlled Assemblies
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 Watanabe, Y.; Haketa, Y.; Nakamura, K.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Synthesis of Arylethynyl-Substituted Anion-Responsive -Electronic Systems Providing Dimension-Controlled Assemblies
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 Ikeuchi, S.; Haketa, Y.; Nakamura, K.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Synthesis of -Electronic Systems Comprising Pyrrole Derivatives with Strong Electron-Withdrawing Groups
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.
2.発表標題 Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4 . 発表年

2018年

1 . 発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2.発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin AullI Complexes
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Nishiyama, K.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2.発表標題 Pyrrole-Based Anion-Responsive -Electronic Molecules Providing Oligomeric Structures
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Fukukawa, S.; Nakamura, K.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2.発表標題 Synthesis of Radially Arranged Oligomers of Anion-Responsive -Electronic Molecules
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Miyasue, M.; Haketa, Y.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Synthesis and Assemblies of Heterocycle-Bridged Dipyrrolyl -Electronic Molecules
3 . 学会等名 14th International Workshop on Supramolecular Nanoscience of Chemically Programmed Pigments(国際学会)
4 . 発表年 2018年

Maeda, H.
wacua, II.
2.発表標題
Ion-pairing assemblies comprising charged porphyrins
3.学会等名
Supramolecular Chemistry of Nitrogen Ligands(国際学会)
4.発表年
2018年
2010 1
1.発表者名
Ito, F.; Oka, N.; Haketa, Y.; Maeda, H.
20 主 4 取 日本
2 . 発表標題
Dynamic Polymorph Formation during Evaporative Crystallization from Solution Probed by Fluorescence Changes
3.学会等名
27th IUPAC International Symposium on Photochemistry(国際学会)
4.発表年
2018年
2010 1
1.発表者名
Kita, H.; Yamakado, R.; Haketa, Y.; Maeda, H.; Kamada, K.
2. 艾士
2 . 発表標題
2 . 発表標題 Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3.学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会)
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3.学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会)
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ion Pairs 3 . 学会等名
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H.
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ion Pairs 3 . 学会等名 27th International Liquid Crystal Conference (国際学会)
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ion Pairs 3 . 学会等名
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ion Pairs 3 . 学会等名 27th International Liquid Crystal Conference (国際学会) 4 . 発表年
Two-Photon Absorption Properties of Pyrrole-Extended Boron Diketonate Complexes Studied by Experiment and Calculation 3 . 学会等名 27th IUPAC International Symposium on Photochemistry (国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Haketa, Y.; Maeda, H. 2 . 発表標題 Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ion Pairs 3 . 学会等名 27th International Liquid Crystal Conference (国際学会)

1. 発表者名
Nakamura, K.; Maeda, H.
2.発表標題
Assembled Behavior and Functionalization of Polar-Switchable -Systems
3.学会等名
27th International Liquid Crystal Conference(国際学会)
27th International English Gystal Conference (国际子会)
4.発表年
- 2018年
20104
1.発表者名
Maeda, H.
2.発表標題
Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ion Pairs
Dimension-controlled Assemblies based on -Electronic fon Fairs
3 . 学会等名
43rd International Conference on Coordination Chemistry (ICCC43)(招待講演)(国際学会)
Total International Conference on Conferenc
4.発表年
2018年
2010—
1.発表者名
前田大光
前田久儿
2 . 発表標題
合成化学を基盤とした。電子イオニクスの確立
自然心子と至血とした。もう「カーノハの能立
3.学会等名
第5回辰巳午会化学シンポジウム
3001KB 410177 30774
4 . 発表年
2018年
 1
1.発表者名
喜多華代・山門陵平・羽毛田洋平・前田大光・鎌田賢司
音グ手()、山川攻下、対心山汗下、川山八九、城山真山
2.発表標題
ジピロリルジケトンホウ素錯体の二光子吸収スペクトルの測定とシミュレーション
3. 学会等名
2018年光化学討論会
4.発表年
2018年

1.発表者名 平田剛輝・前田大光
2 . 発表標題 ピロールを基盤としたアニオン応答性 電子系分子の水素結合供与型有機分子触媒への展開
3.学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 笹野力史・前田大光
2 . 発表標題 ポルフィリンアニオンを基盤とするイオンペア集合体の創製
3 . 学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4. 発表年 2018年
1 . 発表者名 久野温子・前田大光
2 . 発表標題 多様な会合挙動を示すアニオン応答性 電子系の創製
3 . 学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 池内翔太・羽毛田洋平・中村一登・前田大光
2 . 発表標題 強力な電子求引性基を導入したピロールからなる新規 電子系の合成
3 . 学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 杉浦慎哉・前田大光
2 . 発表標題 拡張したピロールを有するアニオン応答性 電子系分子の合成と集合化
3 . 学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
N. 1777
2 . 発表標題 ポルフィリン金錯体を基盤としたイオンペア集合体の創製
3 . 学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名 西山賢大・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 多量体構造を形成するピロールからなるアニオン応答性 電子系の合成
N. I. P. P.
3 . 学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4.発表年
2018年
1 . 発表者名 宮末実佳・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 ヘテロ環で架橋されたジピロリル 電子系の合成と集合化
3 . 学会等名 第29回基礎有機化学討論会
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 中村 一登・前田大光
2.発表標題極性のスイッチングが可能な電子系を基盤とした集合体の形成と機能化
3 . 学会等名 第67回高分子討論会
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 中村 一登・前田大光
2 . 発表標題 極性のスイッチングが可能な 電子系を基盤とした集合体の形成と機能化
3 . 学会等名 第69回コロイドおよび界面化学討論会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Yamakado, R.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Preparation of the Photo-Responsive Ion-Pairing Dimension-Controlled Assemblies
3.学会等名 18th International Symposium on Advanced Organic Photonics (ISAOP-18)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 甲田直也・前田大光
2 . 発表標題 直交する 電子系を導入したアニオン応答性 電子系の合成と物性
3 . 学会等名 第8回CSJ化学フェスタ2018
4 . 発表年 2018年

4 改丰业权
1 . 発表者名 渡邉悠太・中村一登・羽毛田洋平・前田大光
似是心态。当时,立下的专用并下于则用人儿
2.発表標題
次元制御型集合体を指向した芳香族エチニル置換アニオン応答性 電子系の合成
3 . 学会等名
第8回CSJ化学フェスタ2018
4.発表年
2018年
1.発表者名
池内翔太・中村一登・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題
強力な電子求引性基を導入したピロールからなる新規 電子系の合成
3 . 学会等名
第8回CSJ化学フェスタ2018
4. 発表年
2018年
1.発表者名
杉浦慎哉・前田大光
2 . 発表標題
・ 光祝保殿 拡張したピロールを有するアニオン応答性分子の合成とその集合体の評価
がある。ことは、これでは、これでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに
3 . 学会等名 第8回CSJ化学フェスタ2018
为0凹v3Jでナノエグ.25010
4.発表年
2018年
1. 発表者名
田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2. 発表標題
ポルフィリンAulll錯体を基盤としたイオンペア集合体の創製
3.学会等名
第8回CSJ化学フェスタ2018
4 . 発表年 2018年
ZU10 '

1.発表者名 - 西山竪大,羽毛田洋平,前田大米
西山賢大・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 多量体構造を形成するピロールからなるアニオン応答性 電子系の合成
夕重体構造を形成するこれ。
3 . 学会等名 第8回CSJ化学フェスタ2018
第 0回の30日子フェスフ2010
4.発表年
2018年
1.発表者名
宮末実佳・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
ヘテロ環で架橋されたジピロリル 電子系の合成と集合化
3.学会等名
第8回CSJ化学フェスタ2018
2018年
1. 発表者名
Haketa, Y.; Maeda, H.
2 . 発表標題
Ion-Pairing Dimension-Controlled Assemblies Based on -Electronic Ions
3.学会等名
International Congress on Pure & Applied Chemistry Langkawi (ICPAC Langkawi 2018)(招待講演)(国際学会)
4 . 完表中 2018年
2010 1
1.発表者名
Sasano, Y.; Maeda, H.
Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin Anions
The 14th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-14)(国際学会)
4.発表年 2019年
2018年

1.発表者名	
Kuno, A.; Maeda, H.	
2 . 発表標題 Synthesis of Anion-Responsive -Electronic Molecules Exhibiting Various Binding Behaviors	
3.学会等名	
The 14th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-14)(国際学会)	
4.発表年	
2018年	
1.発表者名 Sugiura, S.; Maeda, H.	
N. A. I. P. C.	
2 . 発表標題 Synthesis and Assemblies of Anion-Responsive Molecules Comprising -Extended Pyrrole Units	
a WARE	
3 . 学会等名 The 14th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-14)(国際学会)	
4 . 発表年	_
2018年	
1.発表者名 Tanaka, H.; Haketa, Y.; Maeda, H.	
2 76 主 4 第 8 7	
2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin AullI Complexes	
- W.A. Rev. Lea	
3 . 学会等名 The 14th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (IKCOC-14)(国際学会)	
4,発表年	\dashv
2018年	
4010T	
4010T	
1 . 発表者名 前田大光	
1 . 発表者名	
1.発表者名 前田大光	
1 . 発表者名 前田大光 2 . 発表標題	
1 . 発表者名 前田大光 2 . 発表標題 イオンペアリング 電子系集合体の化学	
1 . 発表者名 前田大光 2 . 発表標題 イオンペアリング 電子系集合体の化学 3 . 学会等名 産総研講演会(招待講演)	
1 . 発表者名 前田大光 2 . 発表標題 イオンペアリング 電子系集合体の化学 3 . 学会等名	
1. 発表者名 前田大光 2. 発表標題 イオンペアリング 電子系集合体の化学 3. 学会等名 産総研講演会(招待講演) 4. 発表年	

1 . 発表者名 羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 電子系イオンペアの合成と次元制御型集合体の形成
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 平田剛輝・小林洋一・前田大光
2 . 発表標題 ジピリンを基盤としたキラルな金属錯体の合成と物性
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4.発表年 2019年
1.発表者名 Sasano, Y.; Maeda, H.
2 . 発表標題 Ion-Pairing Assemblies Based on Porphyrin Anions
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 中村一登・前田大光
2 . 発表標題 構造変調が可能な 電子系を基盤とした液晶性集合体の電場応答挙動
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 久野温子・前田大光
2 . 発表標題 動的アニオン会合挙動を示すアニオン応答性 電子系のイオンペア集合化
動的ナータン会合手動を示すナータンに合は、电子家のイタン・ソース合化
3.学会等名
日本化学会第99春季年会
4.発表年 2019年
2013-4-
1.発表者名
甲田直也・前田大光
2.発表標題
直交する 電子系を導入したアニオン応答性 電子系の合成と物性
3.学会等名
日本化学会第99春季年会
4.発表年
2019年
1.発表者名
永縄充崇・前田大光
2 . 発表標題 空間制御型アニオン応答性 電子系2量体の合成
3 . 学会等名
日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1. 発表者名
池内翔太・中村一登・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題
ピロリルヨードニウムカチオン:非常に電子不足なピロールを基盤とした 電子系
3.学会等名
3 · 子云寺石 日本化学会第99春季年会
4.発表年
2019年

1 . 発表者名 杉浦慎哉・前田大光
2.発表標題 拡張ピロール環を有するアニオン応答性 電子系の合成とイオンペア集合化
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 田中宏樹・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 ポルフィリンAullI錯体を基盤としたイオンペア集合体の創製
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 西山賢大・羽毛田洋平・前田大光
2 . 発表標題 自己会合能を有するアニオン応答性 電子系の合成と集合化
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 宮末実佳・羽毛田洋平・前田大光
2.発表標題 非平面構造を有するヘテロ環架橋ジピロリル 電子系の合成
3.学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 前田大光・小池亜依・羽毛田洋平
2 . 発表標題 金属錯化を利用した環状アニオン応答性 電子系の合成
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 前田大光・西村忠紘・羽毛田洋平
2 . 発表標題 ヒュスゲン環化付加によるアニオン応答性 電子系の誘導化
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 前田大光・麓信比呂・羽毛田洋平
2 . 発表標題 分子内水素結合によって安定化された 電子系アニオンからなるイオンペア集合体
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 前田大光・村田知己・羽毛田洋平
2 . 発表標題 アニオン応答性 電子系への酸ユニットの導入によるイオンペア集合化
3 . 学会等名 日本化学会第99春季年会
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Zhan, T.; Kojima, T.; Ishii, K.; Takahashi, S.; Haketa, Y.; Maeda, H.; Uchiyama, S.; Hiraoka, S	
2.発表標題 A temperature-controlled cycle of scrambling and self-sorting of building blocks between cubic s	assemblies
3.学会等名 日本化学会第99春季年会	
4 . 発表年 2019年	
(교환) 보스(#	
【図書〕 計6件 1.著者名 山門陵平・前田大光	4 . 発行年 2021年
2.出版社 シーエムシー出版	5.総ページ数 323
3.書名 「光応答性荷電 電子系集合体の設計」刺激応答性高分子の開発動向	
1.著者名 前田大光	4 . 発行年 2019年
2.出版社	5.総ページ数
日本化学会 3.書名	212
3.音句 学会・シンポジウムレポート (CSJカレントレビュー 超分子ポリマー - 超分子・自己組織化の基礎から 先端材料への応用まで)	
1.著者名	4.発行年
I.看自句 Haketa, Y.; Yamakado, R.; Urakawa, K.; Maeda, H.	2020年
2. 出版社 Springer	5.総ページ数 603
3.書名 -Electronic ion-pairing assemblies for photoswitching materials (Photosynergetic Responses in Molecules and Molecular Aggregates; Miyasaka, H.; Matsuda, K.; Abe, J.; Kawai, T. Eds.)	

1.著者名	4 . 発行年
前田大光	2019年
即此人儿	20194
2.出版社	5.総ページ数
朝倉書店	
扔后自归	
3.書名	
"[ZnN4]n: Bis(dipyrrilylphenylethynyl)benzenes Znll-bridged polymers" 錯体化合物事典	1(大川尚十
他編)	() () ()
1 . 著者名	4.発行年
羽毛田洋平・前田大光	2019年
2 . 出版社	5.総ページ数
	608
技術情報協会	606
3.書名	
「 電子系イオンの配列制御による次元制御型集合体の創製」次世代のポリマー・高分子開発	新1.1.1田
金田の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	5, MIOVIA
还展用C付木展 望	
1 . 著者名	4.発行年
前田大光	2019年
2 . 出版社	5.総ページ数
	」 3 ・ 総・ハー ノ 奴
日本化学会	-
3 . 書名	
「学会・シンポジウムレポート」CSJカレントレビュー 超分子ポリマー - 高次精密合成と革	S 辛氏 坳 台
	-初1茂化(以
題)(日本化学会 編)	
[出願] 計1件	7K-00 +v 1 (4-2) +v
産業財産権の名称	発明者 権利者
新規化合物	中村一登・大橋幸 JSR株式会社・学
	恵・前田大光・羽毛 校法人立命館
	田洋平・上田健太郎
	山什十 工口性人即

国内・外国の別 国内

出願年 2021年

〔取得〕 計0件

産業財産権の種類、番号 特許、2021-097108

〔その他〕

立命館大学 研究者学術情報データベース
http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/29/0002834/profile.html
立命館大学 生命科学部 超分子創製化学研究室(前田研究室)
http://www.ritsumei.ac.jp/lifescience/achem/maeda/
C π☆μΜ

6 . 研究組織

 ・ W プレドエドリ		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
フランス	University of Strasbourg			
	National University of Singapore			